はじめに

このたびは、「SoftBank X01HT」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank X01HTをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書は日本国内向けです。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（「A.3 お問い合わせ先一覧」）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank X01HTは、3G方式とGSM方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（「A.3 お問い合わせ先一覧」）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。
- 本機の内蔵ソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果について、当社はいかなる保証もいたしかねます。なお、ソフトウェアのご使用に際して、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは必ずその使用条件をご確認下さい。
- 以下の状態では、PDA機能を含むすべての機能がロックされますのでご注意ください。
  - 機種変更または解約し、USIMが未挿入または不正なUSIMが挿入されている場合。ロックを解除するには、正規のUSIMを挿入して、電源を入れなおしてください。
  - 長期間、本機をお使いにならなかった場合。ロックを解除するには、正規のUSIMを挿入して、電源を入れなおしてください。
  - 長期間、フライトモードに設定していた場合。ロックを解除するには、ハードリセット後、正規のUSIMを挿入して、電源を入れなおしてください。

以降、本書において「SoftBank X01HT」は「X01HT」と記載させていただきます。あらかじめご了承ください。

安全に関するご注意（必ずお読みください）

- ご使用になる前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。
- 以降で説明する注意事項は、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されています。よくお読みの上、記載内容を必ず厳守してください。
- 本製品の故障、誤作動、不具合といった原因によって、通話や通信が困難となり、お客様、または第三者の方が損害を受けられたとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	説明
危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険性が高い」ことを示す内容です。
警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性がある」ことを示す内容です。
注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性および物損を伴う可能性がある」ことを示す内容です。

■絵表示の説明

記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。

記号は
しなければならないこと（指示）を表しています。

記号は
気をつける必要があることを表しています。

危 険

X01HT、電池パック、急速充電器、USIMカードの取扱いについて〈共通〉

X01HTに使用する電池パックおよび急速充電器は、指定のオプション品のみを使用する

指定のオプション品以外のものを使用すると、漏液・発熱、破裂・発火などによって、X01HTや電池パック、その他の機器の故障の原因となります。指定のオプション品については、お問い合わせください。（「A.3 お問い合わせ先一覧」）。

分解や改造をしない

X01HTおよび急速充電器、電池パックの本体は、絶対に分解しないでください。ケガや感電などの傷害や火災が発生する恐れがあります。また、電池パックの漏液・発熱、破裂、発火の原因となります。本体内部の点検・調整・修理は、ソフトバンクの故障受付窓口（「A.3 お問い合わせ先一覧」）にご依頼ください。

X01HTおよび急速充電器は、絶対に改造しないでください。感電や火災の発生の原因となります。

水にぬらさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。水や海水、ペットの尿などの液体が機器の本体に入ると、発熱・感電・火災などの発生により故障やケガの原因となります。また、電池パックの破損や性能の劣化、寿命の低下を引き起こす原因となります。

高温になる場所で使用したり放置したりしない

火のそばやストーブのそば、直射日光の強いところ、炎天下の車内など、高温になる場所での使用や放置は避けてください。機器の変形や故障、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の発生、および性能の劣化や寿命の低下の原因となります。また、機器のケースの一部が高温となり、やけどの原因となることがあります。

危　険

電池パックの取扱いについて

電池パックのラベルに電池の種類が記載されています。お使いの電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion Polymer	リチウムイオンポリマー電池

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。

正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷・変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 電池パックをX01HTに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。

電池パックの中の液体が目に入った場合、こすらずにすぐにきれいな水で洗い流したあと、直ちに医師の治療を受けてください。

そのままにしておくと、失明の恐れがあります。

警　告

X01HT、電池パック、急速充電器、USIMカードの取扱いについて〈共通〉

水などの入った容器を近くに置かない

X01HTや急速充電器の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、電池パックやX01HT本体、急速充電器、USIMカードを入れない

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火、およびX01HTや急速充電器の発熱・発煙・発火の恐れがあり、回路部品を破壊する原因となります。

充電用の端子に導電性のものを接触させない

充電用端子に金属製のストラップやボールペンのような筆記用具などを接触させないでください。金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管したりすると、端子に接触する可能性がありますので避けてください。

端子に金属製のものが接触すると、電池パックの漏液・発熱・発火・感電の恐れがあり、やけどやケガの原因となります。専用キャリングケースなどに入れて持ち運んでください。

警　告

X01HT、電池パック、急速充電器、USIMカードの取扱いについて〈共通〉

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視覚的な障害を引き起こす原因となります。また、一時的な目の眩みや驚きのために、ケガや事故などの原因となります。
注意事項：
当製品に使用のライト光源LEDは、指定されてない調整等の操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。

内部に異物などが入ったときは

X01HTの電源を切って電池パックを取り外したあと、急速充電器のプラグをACコンセントから抜いて、ソフトバンクの故障受付窓口（「A.3 お問い合わせ先一覧」）にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火物がある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性の強いガスや粉塵がある場所での使用は避けてください。爆発や火災の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしない

X01HTや急速充電器を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、X01HTや急速充電器を落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ソフトバンクの故障受付窓口（「A.3 お問い合わせ先一覧」）にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

警　告

X01HT、電池パック、急速充電器、USIMカードの取扱いについて〈共通〉

異常が起きたら

使用中や充電中、または保管しているときに、異臭・発熱・変色・変形などの異常に気づいたときは、直ちに次のような処置をとってください。

1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜いてください。
2. X01HTの電源を切ってください。
3. 電池パックをX01HTから取り外してください。
4. ソフトバンクの故障受付窓口（「A.3 お問い合わせ先一覧」）に修理をご依頼ください。

そのまま使用すると、発熱・破裂・発火の恐れや、電池パックの漏液の原因となります。

X01HTの取扱いについて

車の運転中に使用しない

2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となり、X01HTもこれに該当します。付属のステレオイヤホンマイクをご利用の場合でも、安全な場所に車を止めてからご使用ください。

歩行中の使用

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

交通事故の原因となります。

ストラップを持って、X01HTを振り回したりしない

ご本人や他の人に当たる危険性があり、ケガや事故、および本体の故障の原因となります。

赤外線ポートは直接目に向けて使用しない

目に悪影響を及ぼす可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて使用すると、誤動作を引き起こす恐れがあります。

警　告

X01HTの取扱いについて

エアバックのまわりのダッシュボードなど、エアバックが開いたときに影響を受けそうな場所にX01HTを置かない

エアバックが開いたとき、X01HTがご本人や他の人に当たる恐れがあり、ケガや事故、および故障や破損の原因となります。

航空機内では、X01HTをフライトモードに切り替える

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）および着信音量の設定を必要以上に大きくしない

強すぎる振動や大きすぎる着信音は、心臓に影響を及ぼす可能性があります。

屋外で使用中、雷が鳴りだしたら、直ちにX01HTの電源を切って安全な場所に移動する

落雷や感電の恐れがあります。

スピーカーフォンがオンになっているときは、必ずX01HTを耳から離す

難聴になる可能性があります。

急速充電器の取扱いについて

市販の「変圧器」は使用しない

急速充電器を、海外旅行用として市販されている「変圧器」などに接続しますと、火災・感電・故障の原因となることがあります。

濡れた手で急速充電器のコード、コンセントに触れない

感電の原因となります。

警　告

急速充電器の取扱いについて

禁止	**タコ足配線はしない** 発熱により火災の原因となります。
禁止	**コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせない** 端子に金属を接触させてショートさせたり、指先や手など身体の一部を接触させないでください。火災・故障・感電・傷害の原因となります。
禁止	**雷が鳴り出したら** 雷が鳴り出したら、急速充電器には触れないでください。落雷・感電の原因となります。
指示	**指定の電源、電圧で使用する** 指定範囲外の電圧で使用すると、火災や故障の原因となります。 急速充電器：AC100～240V (家庭用コンセントのみに接続します)
指示	**急速充電器コードが傷ついたときは** **(芯線の露出、断線など)** ソフトバンクの故障受付窓口（「A.3 お問い合わせ先一覧」）に交換をご依頼ください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

警　告

電池パックの取扱いについて

所定の充電時間（「A.2 仕様」を参照してください）を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる

電池パックを漏液・発熱・破壊・発火させる原因となります。

電池パックから漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用を中止して火気から遠ざける

漏液した液体に引火する恐れがあり、発火・破裂の原因となります。

電池パックの中の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用を中止してきれいな水で洗い流す

皮膚に傷害を引き起こす恐れがあります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、X01HTから取り外し、使用しないでください。

そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

警　告

スタイラスの取扱いについて

スタイラスを人に向けて使用しない

ご本人や他の人に先端部分が当たり、ケガや失明の原因となります。

スタイラスを付属の機器以外で使用しない

使用した機器の誤動作・故障・破損の原因となります。

X01HTに使用するスタイラスは、指定したものを使用する

指定品以外のものを使用した場合、ディスプレイを破損・汚濁させる原因となります。

スタイラスを取り外し/収納する際は

手や指を傷つける場合がありますのでご注意ください。

警　告

医用電気機器の近くでのご使用上の注意

「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話等の使用に関する指針」(電波環境協議会) に準じた内容について記載しています。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器をご使用されている場合、機器の装着部からX01HTを22cm以上離して携行および使用してください。

X01HTから発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混在した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性があります。このような場所ではX01HTの電源を切るようにしてください。

X01HTから発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守ってご使用ください。

- 手術室、集中治療室 (ICU)、冠状動脈疾患監視病室 (CCU) の中には、X01HTを持ち込まない。
- 病棟内ではX01HTの電源を切る。
- ロビーや待合室などでも付近で医用電気機器が使用されている場合は、X01HTの電源を切る。
- 医療機関内で使用および持ち込みなどが禁止されている場所については、その医療機関の指示に従う。
- X01HTの電源が自動的に入るような機能をご使用の場合は、その設定を解除してから電源を切る。

自宅療養など医療機関以外の場所で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用されている場合は、電波による影響について各医用電気機器のメーカーや販売元にご確認ください。

X01HTから発せられる電波により、医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

注　意

X01HT、電池パック、急速充電器、USIMカードの取扱いについて〈共通〉

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かない

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には保管しない

故障の原因となります。

冷気が直接吹きつける所へ置かない

露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

極端に寒い場所に置かない

故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 磁気カードなどをX01HTに近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

子供が使用する場合

お子さまが本機を使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

危　険

X01HTの取扱いについて

X01HTのキーボードを開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

X01HTの温度（発熱）について

充電・動画撮影や再生・テレビ電話の使用・長時間連続使用などの場合において、X01HTの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。
X01HTを急速充電器に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。

思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。

また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

自動車内でのご利用について

X01HTを自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

危　険

X01HTの取扱いについて

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
ナビゲーション コントロール中央キー	ABS	クロムメッキ仕上げ
装飾用C型プレート	アルミニウム合金	該当なし
ミラー	ABS	クロムメッキ仕上げ
カメラリング	クロム	該当なし
ストラップ取付口	鉄	クロムメッキ仕上げ
スタイラス	POM/銅	該当なし/クロムメッキ仕上げ
ネジ	鉄	銅メッキ、ニッケルメッキ下地にクロムメッキ仕上げ
ミニUSBコネクタ	ステンレススチール/つや消し錫	該当なし
電池パック	ステンレススチール	該当なし
USBステレオヘッドセット イヤホンカバー	ステンレススチール	該当なし
USBステレオヘッドセット ミニUSBプラグ	鉄	錫メッキ仕上げ
急速充電器ACプラグ	銅	ニッケルメッキ仕上げ
急速充電器 ミニUSBプラグ	鉄	ニッケルメッキ仕上げ
USB接続ケーブル USBプラグ/ミニ USBプラグ	鉄	ニッケルメッキ仕上げ

注 意

急速充電器の取扱いについて

急速充電器コードの取扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。急速充電器のプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- ACコンセントの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

急速充電器のコードの上に重いものをのせない

感電・火災の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電中は、急速充電器を安定した、風通しのよい場所に置いてください。また、急速充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

X01HTが急速充電器から外れたり、熱がこもり、火災・事故の原因となります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため、必ず急速充電器のプラグをACコンセントから抜いて、X01HTを取り外してください。感電・火災・故障の原因となります。

お手入れの際は

安全のため、急速充電器のプラグをACコンセントから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

注　意

電池パックの取扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしない

発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックの保管場所について

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。

発熱・発火、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

一般のゴミと一緒に捨てない

発火・環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

- 電池パックの充電は、適正な充電温度範囲内（5°C～35°C）の場所で行ってください。
- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。

  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックをはじめてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。

注　意

USIMの取扱いについて

USIMカード（IC部分）を取り外す際は
手や指を傷つける可能性がありますのでご注意ください。

取扱上のお願い

共通のお願い

- 水に濡らさないでください。
  X01HT、電池パック、急速充電器、USIMカードは防水仕様ではありませんので、風呂場やプールなど水がかかったり湿度の高い場所でのご使用は避けてください。屋外で雨がかかるような状況でのご使用もおやめください。また、身につけて携行している場合、汗による湿気によって内部が腐食する可能性があり、故障の原因となります。故障の原因が、調査の結果これらの水濡れによる故障であると判明した場合は、保証対象外となり修理をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください（修理可能な場合でも有償修理となります。）
- 汚れを拭くときは、めがね拭きなど乾いた柔らかい布で拭いてください。
  - カメラレンズやカラー液晶ディプレイには、性能を高めるために特殊コーティングが施されています。乾いた布で強く擦るとレンズやディスプレイに傷がつく可能性があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。またカメラレンズやディスプレイに水滴や汚れが付着したままにしておくと、シミになったり、コーティングがはがれてしまうことがあります。
  - アルコール・シンナー・ベンジン・洗剤などを使って拭くと、印刷されたラベルが消えてしまったり、変色したりする原因となります。
- エアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。
  急激な温度の変化により内部で結露が発生し、腐食および故障の原因となります。

- 本機に無理な力がかからないようにしてください。
荷物が多く詰まったカバンの中に入れて携行したり、座ったときに無理な力がかかるような衣類のポケットに入れておくと、液晶画面や内部基板などの破損や故障の原因となり、保証の対象外となります。

X01HTについてのお願い

- 極端な高温や低温の環境での使用は避けてください。
ご使用できる環境は、温度5℃〜35℃、湿度35%〜85%の範囲です。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオの近くで使用すると、それぞれの機器の作動に影響を与える場合があります。なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でX01HTに登録した情報については、別途メモを取るなどして大切に保管してください。
万が一登録された情報が消失してしまったとしても、弊社としては責任を負いかねますのであらかじめてご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットにX01HTを入れたまま、椅子に座ったりしないでください。また、カバンの底など無理な力がかかりやすい場所に入れての携行は避けてください。故障の原因となります。
- 使用中や充電中にX01HT本体は温かくなりますが、これは異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光に向けたままで放置しないでください。
カメラの中の素子に、退色や焼付きを引き起こす恐れがあります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
使用状況によっても異なりますが、十分に充電しても動作時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 初めてお使いになるときや長時間ご使用にならなかった場合は、使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの動作時間は、使用環境や電池パックの劣化具合によって異なります。

- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
  長時間使用しないときは、使い切った状態で本機から外し、電池パックを包装していたビニール袋などに入れて保管してください。

急速充電器についてのお願い

- 電池パックの充電は、適正な充電温度範囲内 (5ºC～35ºC) の場所で行ってください。
- 次のような場所での充電は避けてください。
  - 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの機器の近く
- 充電中、急速充電器本体が温かくなることがありますが、これは異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントを使って充電する場合、そのコンセントの取扱説明書の指示に従ってください。

USIMカードについてのお願い

- USIMカードを取り外すときは、必要以上の力を入れないようにしてください。
- ご使用になる端末に挿入するときは、必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 使用中、USIMカードが温かくなることがありますが、これは異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダダライターにUSIMカードを挿入したことが原因で故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- ICの接点部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- 汚れを拭くときは、めがね拭きなど乾いた柔らかい布で拭いてください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録した情報については、別途メモを取るなどして大切に保管してください。
  万が一登録された情報が消失してしまったとしても、弊社としては責任を負いかねますのであらかじめてご了承ください。
- 不要になったUSIMカードは通信事業者の販売店までご返却ください。
- 極端な高温や低温の環境は避けてください。

- ICの接点部分を傷つけたり、むやみに触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データが消失したり故障の原因となります。
- USIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- USIMカードを曲げたり、重いものを上に乗せたりしないでください。
  故障の原因となります。

知的財産権について

著作権と肖像権

お客様が本製品を利用して撮影したり、インターネットのWebサイトからダウンロードしたりして取得した文章や画像、音楽、ソフトウェアといった第三者が著作権を有するコンテンツについては、著作権法上認められている私的使用目的の複製や引用を除き、著作権者に無断で複製や改変、公衆への頒布を行うことは禁止されています。

私的使用目的であっても、実演や興行、展示物の中には、撮影や録音を制限している場合があるのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して当人の同意なしに肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を当人の同意なしにインターネット上など公衆で視聴できる状態にすることは、肖像権を侵害する恐れがあります。

X01HTに搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行なわないで下さい。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

商標について

- microSD™とそのロゴマークはSDアソシエーションの商標です。
- Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth® SIG, INCの登録商標で、ライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

Bluetooth® およびワイヤレスLANについてのお願い

Bluetooth® およびワイヤレスLAN機器の使用に当たっての注意

本製品の使用周波数帯は、電子レンジなどの家電製品、産業・科学・医療用機器、工場の製造ラインなどで使用される免許が必要な移動体識別構内無線局、免許を必要としない特定小電力無線局、アマチュア無線局など (以下「他の無線局」) が利用しています。

1. 本製品を使用する前に、その周囲で「他の無線局」が利用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合、直ちに使用場所を変更するか、電源を切るなど電波干渉を解消するように対処してください。

■ 周波数帯域について

Bluetooth® およびワイヤレスLAN搭載機器が使用している周波数帯は、X01HT本体の電池パックの格納部分のラベルに記載されています。ラベルの周波数の記載は次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4
■■■

2.4	：	周波数2400MH帯を使用する無線装置であることを示します。
FH/DS/OF	：	変調方式がそれぞれFH-SS、DSSS、OF-DMであることを示します。
1	：	想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■	：	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

Bluetooth® についてのお願い

- 本機のBluetooth®通信機能には、Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティシステムを採用していますが、設定内容によってはセキュリティが十分機能しない場合があります。Bluetooth®による通信を行うときは十分ご注意ください。
- Bluetooth®を使用した通信からデータや情報が漏洩したとしても、弊社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機のBluetooth®機能のバージョンとプロファイルは次のとおりです。

対応バージョン	Bluetooth® 標準規格Ver.2.0準拠※1
出力	Bluetooth® 標準規格Power Class2
対応プロファイル※2	Generic Access profile Serial Port profile Headset profile Object Push profile Hands-free profile Generic Object Exchange profile

※1 本機を含めすべてのBluetooth® 機能搭載機器は、Bluetooth® SIGの規定に基づいた適合試験によってBluetooth® 標準規格の認証を取得していますが、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth® の通信手順 (プロトコル) を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 良好な状態で接続できるように、次の点にご注意ください。
  - 他のBluetooth®機器との接続は、見通し距離約10m以内で行ってください。本機と他のBluetooth®機器との間に障害物があると、接続距離は短くなります。また、ご使用の環境 (壁や家具など) や建物の構造によっても接続距離は短くなります。

特に、鉄筋コンクリート製の建物では、間に鉄筋が入った壁があると、上下の階や隣接する部屋どうしでも接続できないことがあります。したがいまして上記接続距離を保証するものではないことをご了承ください。

・ 電子レンジ・AV機器・OA機器、デジタルコードレス電話機・ファックス、およびその他の電気製品からは2m以上離して接続してください。特に電子レンジによる影響を受けやすいため、必ず3m以上離してください。近くでこのような機器に電源が入っていると、正常に接続できなかったり、テレビやラジオに雑音や受信障害が発生する場合があります。特にUHFや衛星放送の特定のチャンネルでは、テレビが乱れることがあります。

・ 放送局や無線機など強い電波を発するものが近くにあり、接続が困難なときは、接続先のBluetooth® 機器の場所を移動してください。強い電波が周囲にあるときは、正常に接続できないことがあります。

ワイヤレスLANについてのお願い

■ ワイヤレスLANについて
電気製品・AV機器・OA機器といった磁気や電磁波を発しているものの近くでは使用しないでください。

・ 磁気や電磁波の影響によって通信状態が不安定になったり接続できなくなることがあります。特に電子レンジを使用しているときは、影響を受けやすくなります。

・ テレビやラジオが近くにあると、これらの機器に雑音や受信障害が発生する場合があります。

・ 周囲で複数のワイヤレスLANアクセスポイントが同じチャンネルを使用していると、正しく検索されない場合があります。

■ ワイヤレスLANとの電波干渉について
Bluetooth® 機器とワイヤレスLAN (IEEE802.11b/g) は、同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。このため、Bluetooth® 通信をワイヤレスLAN機能を搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉によって通信速度の低下や雑音が発生したり、接続が困難になる場合があります。次のような方法で対処してください。

- Bluetooth® による無線通信を行なう本機およびBluetooth® 機器は、ワイヤレスLANと10m以上離してください。
- Bluetooth® による無線通信を行なう本機およびBluetooth® 機器をワイヤレスLANから10m以内で使用する場合、ワイヤレスLANの電源を切ってください。

- Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Mobile®、ActiveSync®、Outlook® 、PowerPoint、Windows Media及びInternet Explorerのロゴは、米国Microsft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Excel、Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- TVコールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 本書では各OS (日本語版) を次のように略して表記しています。Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- その他本文中に記載されている会社名、商品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License に基づいてライセンスされています。これはお客様の個人的かつ非営利目的において次のような用途に限ってライセンスされており、その他の用途については認められていません。
  - MPEG-4 Visual規格に準拠するビデオ画像 (以降、MPEG-4ビデオ) の記録
  - 個人的かつ非営利的活動において消費者によって記録されたMPEG-4ビデオの再生

- MPEG-LAからライセンスされた提供者によるMPEG-4ビデオの再生
  - 詳細な情報については、米国法人MPEG LA, LLCまでお問い合わせください。

携帯電話の比吸収率（SAR）について

この機種【X01HT】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR：Specific Absorption Rate)について、これが2 W/kg ※の許容値を超えないこととしています。

この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機【X01HT】のSARは、0.694 mW/g@10gです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省電波利用ホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会くらしの中の電波ホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
※技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2)で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

ソフトバンクでは、ボディSARに関する技術基準として、欧州における情報を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのホームページからも内容をご確認いただけます。

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機【X01HT】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2 W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.694 mW/g@10gです。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のホームページをご参照ください。

(http://www.who.int/emf) (英文のみ)

* 身体に装着した場合の測定試験はCEが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

「輸出管理規制について」

本製品および付属品は、日本輸出管理規制 (外国為替および外国貿易法ならびに関係法令) および米国輸出管理規則 (Export Administration Regulations : EAR) に該当する場合があります。輸出・再輸出が禁止されている国および最終使用者への輸出・再輸出、および禁止されている最終使用目的に応じた輸出・再輸出など、上記の規制に抵触する輸出・再輸出は禁止されています。輸出が規制されている国への持ち出しについては、お客様の責任および費用負担において、同規則に基づく輸出許可取得などの手続きを行ってください。詳細については、経済産業省または米国商務省までお問い合わせください。

カメラについてのお願い

- お客様が本機のカメラ機能を利用して、著しい迷惑行為や不良行為を公衆に行った場合、該当する法律、法令 (迷惑防止条例など) に基づいて処罰される場合があります。

> X01HTのカメラを利用した写真の撮影や画像の送信を行うときは、プライバシーについて十分配慮してください。

目次

付録 197

索引 203

第1章

ご利用になる前に

1.1 お買い上げ品の確認

番号	アイテム	機能
1	**急速充電器**	X01HT専用の電池パックの充電を行うときに使用します。(保証書含む)
2	**USBケーブル**	本機とPCのデータ同期用のケーブルです。
3	**ステレオイヤホンマイク**	ボリュームコントロール用スライダと、通話ボタンが付いています。通話ボタンは電話に応答したり、通話を保留したりするときに使用します。またこのボタンを長押しすると、通話を終了することができます。
4	**お使いになる前にディスク**	X01HT用のMicrosoft ActiveSyncセットアッププログラム、必要なドライバプログラムなどが収録されています。
5	**キャリングケース**	本機を保護する携帯用ケースです。
6	**X01HT携帯電話無線機**	本機 (保証書、スタイラスx 2、リアカバー含む)
7	**電池パック**	X01HT専用の電池パックです。
8	**X01HT取扱説明書**	本書

1.2 各部の名称と機能

本体

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

番号	名称	機能
1	**ハードウェア キーボード**	詳細については、第2章を参照してください。
2	**メールボタン**	メールを起動します。詳細については、第7章を参照してください。
3	**通知LED 1**	このLEDの青い点滅は、Bluetooth®による通信が可能な状態であることを示します。また緑色の点滅は、ワイヤレスLANの状態を示します。Bluetooth®とワイヤレスLAN機能が両方とも有効になっている場合は、それぞれのライトが交互に点滅します。
4	**通知LED 2**	緑色とオレンジ色に点灯するLEDです。これは3G/GSMスタンバイ、3G/GSMメッセージ、3G/GSMネットワーク状態、通知、電池パックの充電状態などを示します。
5	**Internet Expolorer ボタン**	Internet Explorer Mobileを起動します。詳細については、第6章を参照してください。
6	**サブカメラ**	このカメラは主にTVコールに使用します。詳細については、第8章を参照してください。
7	**ジョグホイール**	Today画面やアプリケーションの画面で、メニューやスクリーンを上下にスクロールしてナビゲートします。ホイールを押すと選択したアイテムを実行します。 通話中または音楽再生中は、音量調整機能になります。
8	**OKボタン**	データ入力を確認したり、使用中のプログラムを終了したりします。
9	**メモボタン**	メモを起動します。詳細については、第2章を参照してください。
10	**microSD™カードスロット**	このカードスロットにはデータを保存するためのmicroSD™メモリカードを挿入することができます。
11	**タッチスクリーン**	スタイラスで画面をタップして文字を書いたり、描画したり、あるいは選択を行ったりします。
12	**左ソフトキー**	ボタンに設定されているコマンドを実行します。

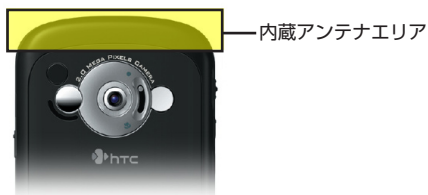
番号	名称	機能
13	**TVコールボタン**	TVコールをかけるときに使用します。
14	**右ソフトキー**	ボタンに設定されているコマンドを実行します。
15	**通話ボタン**	着信に応答したり、番号をダイヤルしたりするときに使用します。
16	**スタートボタン**	スタートメニューが開きます。詳細については、第1章を参照してください。
17	**ナビゲーションコントロール/ENTER**	メニューやプログラムの指示を上下左右に移動するためのコントロールキーです。中央のボタンを押すと、選択したアイテムが実行されます。
18	**OKボタン**	データ入力を確認したり、使用中のプログラムを終了したりします。
19	**終了ボタン**	通話を終了します。またはToday画面に戻ります。

20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33

番号	名称	機能
20	**自己撮影用ミラー**	メインカメラで自分自身を撮影するときに使用する鏡です。
21	**メインカメラ**	静止画やビデオクリップを撮影するときに使用します。標準モードとマクロ (クローズアップ) モードがあります。詳細については、第8章を参照してください。
22	**撮影モードスイッチ**	スイッチを上に上げると標準モードに、下に下げるとマクロモードに切り替わります。詳細については、第8章を参照してください。
23	**撮影用ライト**	撮影用ライトをオンにすると、暗い所でも被写体に照明を当てることにより静止画やビデオクリップを鮮明に撮影することができます。
24	**電源ボタン**	ボタンを短く押すと、画面が一時的にオフになります。このとき本機はスリープモードになっています。ボタンを長押し (約5秒間) すると、完全に電源を切ることができます。 本機がスリープモードになっていても、電話に応答したり、メッセージを受信したりすることは可能です。完全に電源を切ってしまうと、電話を含めたすべての機能が使用できなくなります。
25	**コミュニケーションマネージャ/マナーボタン**	コミュニケーションマネージャが起動します。長押しすると、マナーモードを設定/解除します。詳細については、第6章を参照してください。
26	**カメラボタン**	ボタンを押すとカメラが起動し、再度ボタンを押すと、選択したキャプチャモードによって静止画やビデオクリップを撮影することができます。詳細については、第8章を参照してください。
27	**スタイラス**	スタイラスは文字を書いたり、描画したり、アイテムを選択したりするときに使用します。
28	**ストラップ取付穴**	本機にストラップを取り付けることができます。
29	**赤外線ポート**	赤外線でファイルやデータを交換することができます。

番号	名称	機能
30	**ラッチ**	ラッチをスライドさせるとリアカバーのロックが解除されます。
31	**接続コネクタ**	同梱の急速充電器やUSBケーブル、ステレオイヤホンマイクを接続します。
32	**リセットボタン**	スタイラスでこのボタンを押すと、本機をソフトリセットします。
33	**マイクロフォン**	通話中や音声録音中の音声はこのマイクロフォンで集音します。

内蔵アンテナについて

内蔵アンテナエリア

注意 アンテナは内蔵されているため、外部アンテナはありません。また、内蔵アンテナ部分を手で覆ったりすると、通話品質に影響を及ぼしたり、必要以上に高い電力レベルで動作したりする可能性がありますので触れないようにご注意ください。

1.3 USIMカードのお取扱い

USIMカードをご利用になる前に

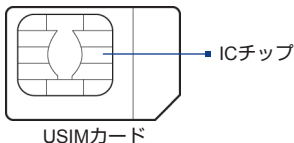
USIM (Universal Subscriber Identity Module) カードは、電話番号やお客様の情報が記録されているICカードです。電話帳の登録も行うことができます。なお、USIMカードが本機に取り付けられていないと、ご利用いただける機能が制限されます。

注意　本機ではUSIMカードにSMSメッセージを移動させたり、USIMカードに保存されているSMSメッセージを見ることはできません。

カード情報とご注意

USIMカードのお取扱い：

- USIMカードを他社製品のICカードリーダーなどに挿入しないでください。他社製品に挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- USIMカードの取り付け、および取り外し時には、必要以上に力をいれないようにしてください。
- USIMカードのIC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

ICチップ

USIMカード

- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

注意　解約/機種変更をしたときやUSIMカードを変更したとき、本機を修理したときは、本機やメモリカードに保存されているファイルがご利用できなくなることがあります。

重要

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失･破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約･休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録されていた情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- USIMカードや本機 (USIMカード装着済) を盗難･紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（「A.3 お問い合わせ先一覧」）までご連絡ください。

USIMカードを取り付ける/取り外す

- 電池パックを取り外した状態で行なってください。
- USIMカードを無理に取り付けたり、取り外すと、USIMカードや本機が破損することがありますので、ご注意ください。
- USIMカードを取り付けたり、取り外すときは、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。また、電池パックの接点部分にも触れないようにしてください。

USIMカードを取り付ける

1. 電源を切った状態で行ってください。
2. ラッチをスライドさせ、電池カバーを取り外してください。電池パックが装着されている場合は、左側から指を入れて電池パックを取り出してください。

ラッチ

3. USIMカードのICチップを下に向けて、USIMトレイに挿入してください (切り込みの入った角が、トレイの切り込みに合うようにしてください)。

USIMカードを
USIMトレイに
挿入する。

4. 電池パックを取り付けてください。
5. 電池カバーを取り付けてください。

USIMカードを取り外す

- スタイラスを使ってUSIMトレイの溝を押し、USIMカードの左端を押さえながらカードを持ち上げ、スロットから取り出してください。

1. スタイラスを使ってUSIMトレイの溝を押す。

2. USIMカードを押し出す。

暗証番号 (PINコード)

USIMカードには、「**PIN 1**コード」と「**PIN 2**コード」の2つの暗証番号があります。

PIN 1コード

第三者によるUSIMカードの無断使用を防ぐための4～8ケタの暗証番号です。

- お買い上げ時には「9999」に設定されています。
- PIN1コードを変更することができます。（「5.5 セキュリティ設定」の「暗証番号 (PIN) を変更するには」参照)
- USIMカードを本機に取り付けて電源を入れたときに、PIN 1コードを入力しないと本機を使用できないようにすることができます。（「5.5 セキュリティ設定」の「暗証番号 (PIN1) によりUSIMカードを保護するには」参照）

PIN 2コード

お買い上げ時には「**9999**」に設定されています。

PIN 2コードを変更する

PIN 2コードは次の手順で変更してください：

1. **スタート** > **設定** > **個人用タブ** > **電話** > **PIN 2**コードをタップしてください。
2. **PIN 2変更**をタップしてください。
3. **現在のPIN 2**コードを入力し、次に**新しいPIN 2**コードを入力してください。**新しいPIN 2**コードを再入力した後、**OK**をタップしてください。

PINロック解除コード (PUKコード)

PIN 1コードまたはPIN 2コードの入力を3回続けて間違えると、PIN 1ロックまたはPIN 2ロックが設定されます。PINロック解除コード (PUKコード) を入力すると、PINロックは解除されます。

PUKコードとロック解除方法については、お問合せ先（「A.3 お問い合わせ先一覧」）までご連絡ください。

注意　PUKコードの入力を１０回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。PUKコードはメモするなどしてお忘れにならないようにご注意ください。(USIMカードがロックされたときは、ロックを解除する方法がなくなります。お問合せ先（「A.3 お問い合わせ先一覧」）までご連絡ください。）

1.4 電池パックのお取扱い

電池パックにはリチウムイオンポリマー電池を使用しています。指定品以外の電池パックや付属品はご使用にならないでください。また、電池パックの消耗の早さには様々な要因が考えられます。ワイヤレスネットワーク設定、電波の強弱、操作中の周囲温度、設定または使用中の各種機能、接続ポートに取り付けられたアイテムの有無、音声通話、パケット通信、その他のプログラムの使用状況などが電池パックの利用可能時間に影響します。

警告!　火災や火傷を防ぐため、次のことにご注意ください：

- 電池パックを分解･改造･破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、火や水の中へは投げ込まないでください。
- 60ºC以上の場所に放置しないでください。
- 交換時は、本機専用の電池パックをご使用ください。
- 使用済み電池パックは、お住まいの地域の規定に従って廃棄してください。

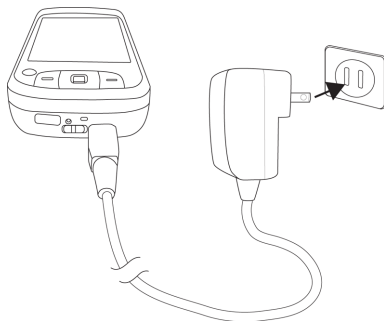
電池残量の確認

次のいずれかの操作を行ってください。

- Today画面でバッテリー残量アイコン（ ）をタップしてください。
- **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **電源**をタップしてください。

充電方法

工場出荷時、電池パックは完全に充電されていません。本機をご使用になる前に、電池パックを装着して充電されることをおすすめします。電池パックは次の2通りの方法で充電することができます。

- 急速充電器 (同梱品) を使って充電。
- USB接続ケーブル (同梱品) を使ってPC経由で充電。

ローバッテリについて

電池パックの残量が少なくなると、警告メッセージが表示されます。その場合は、次の手順のいずれかに従ってください。

- すぐに使用中のデータを保存してください。
- PCと同期させるか、急速充電器を接続して充電してください。
- すぐに充電できない場合は、データの紛失を防ぐために、電源を切ることをおすすめします。

1.5 起動する

電源を入れる

電源ボタンを長押ししてください。初めて電源を入れると、各種セットアップ画面 (タッチスクリーンの補正・場所・スタイラス・パスワード) が順に表示されます。

電源を切るには、電源ボタンを長押ししてください。電源を完全に切るかどうかを確認するメッセージが表示されます。

スリープモードへの切り替え

電源ボタンを短く押すと、画面が一時的に消え、**スリープモード**に切り替わります。スリープモードに設定すると、本機の画面が消え、消費電力が小さくなります。

また、一定時間なにも操作をしないと、本機は自動的にスリープモードに切り替わります。

以下の手順でスリープモードに切り替わるまでの時間を設定することができます。

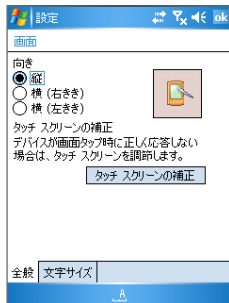
1. **スタート > 設定 > システムタブ > 電源 > 詳細設定タブ**の順に選択してください。
2. **自動的にスリープモードに入るまでの時間**のチェックボックスを選択してください。
3. 電池パックのタイムアウト時間を選択し、**OK**をタップしてください。

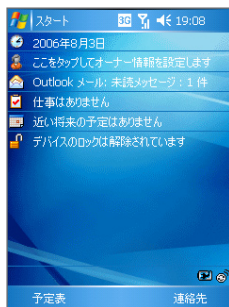
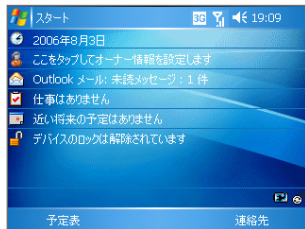
スリープモードに設定されている間も、メッセージを受信したり、着信を受けたりすることができます。電源ボタンをもう一度押すと、スリープモードは解除されます。また、メッセージを受信したり、着信があると、スリープモードは自動的に解除されます。

補正 (キャリブレーション)

初めて電源を入れると、各種セットアップ画面でタッチスクリーンの補正が表示されますが、画面をタップしても正しく反応しない場合は、次の手順にしたがってもう一度補正を行ってください。

1. **スタート** > **設定** > **システムタブ** > **画面**をタップしてください。

2. **全般**タブで**タッチスクリーンの補正**をタップした後、画面の指示にしたがって補正を完了してください。

画面の設定

本機は縦、横 (右きき)、横 (左きき) の3種類の方向モードで使用することができます。縦モードでは画面が見やすく、特定プログラムの操作に適しています。横モードは長いファイルを見るのに適しています。キーボードを開いたときには設定は解除されます。

縦モード

横モード

- モードを変更するには、**スタート** > **設定** > **システム**タブ > **画面**をタップして、モードを選択してください。
- コンテンツを読みやすくしたり、より多くのコンテンツを見たりするには、**文字サイズ**タブでスライダーを使ってサイズを調整してください。

キーロック

キーロック設定は、本機がスリープモードのときに使用できるボタンの種類を設定します。移動中に誤ってボタンを押してしまい、電池パックを消耗することを防ぎます。

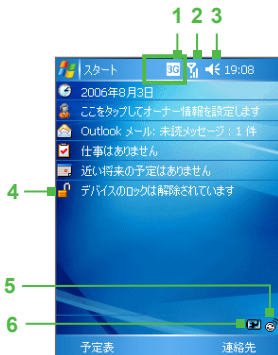
キーロックを設定する

1. **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **キーロック**の順に選択してください。
2. 次より選択してください。
   - **電源以外のボタンをロック**
     電源ボタン以外をロックします。
   - **デバイスがロック状態のときに、ボタンをロックする**
     デバイスロック時、電源ボタン押下によりスリープモード
   - **ボタンをロックしない**
     全てのボタンが使用できます。

注意　スリープモードで本機のキーがロックされているときに着信があると、スリープモードは自動的に解除されるため、電話に出ることができます。通話の後、電源設定で指定された時間内、何も操作しないと、本機は自動的にキーロック設定になります。

1.6 Today画面

Today画面には近い将来の予定、各種機能設定や本機の状態を表すインジケータなど、重要な情報が表示されます。画面上でセクションをタップすると、それに関連付けられたプログラムが起動します。

- Today画面を開くには、**スタート** > **Today**をタップしてください。
- 背景画を含め、Today画面をカスタマイズするには、**スタート** > **設定** > **個人用タブ** > **Today**をタップしてください。

	アイコン	説明	アイコン	説明
1		新しい電子メールとSMSメッセージ		ローミング
		ワイヤレスLANオン		スピーカーフォン オン
		ワイヤレスLANオフ		USIMカードが挿入されていないときにダイヤル
		同期中		同期エラー
		ワイヤレスLAN機能は有効になっていますが、本機がまだワイヤレスネットワークに接続されていません		不在着信通知
		ワイヤレスネットワークが検出されました		ワイヤレスネットワークに接続しています (矢印が動く)、ワイヤレスネットワークに接続しました
		ワイヤレスLANで同期中		3G (パケット) ネットワーク使用可
		3G (パケット) 接続中		3G (パケット) 使用中
		GPRS (General Packet Radio Services) 有効		GPRS接続中
		GPRS使用中		ボイスメールのSMS通知
2		音声通話中		通話保留
		電波状態表示		電話サービス検索中
		電話機能オフまたは電話サービス圏外		
		USIM カードが挿入されていません		
3		サウンドオン		サウンドオフ
		マナーモード		

	アイコン	説明	アイコン	説明
4		本機がロックされた状態		本機がロック解除された状態
5		マナーモード		コミュニケーションマネージャ
6		バッテリーは完全に充電されています		バッテリー残量が少なくなっています
		充電中		

スタートメニュー

スタートメニューはToday画面の左上にあり、プログラムリストが表示されます。プログラムを起動するには、プログラムリストをスクロールしてENTERキーを押すか、スタイラスで使用したいプログラムをタップしてください。

1 Today画面に切り替わります。

2 設定したアイテムが表示されます。スタートメニューに表示するアイテムは、**スタート** > **設定** > **個人用タブ** > **メニュー**をタップすると変更できます。

3 最近使ったプログラムが表示されます。

4 本機にインストールされている他のプログラムを見たり、選択したりすることができます。

5 本機の設定を変更できます。

6 現在の画面のヘルプトピックを見ることができます。

1.7 プログラムの使い方

アイコン	説明
	ActiveSync 本機とPCまたはExchange Serverの間で情報の同期ができます。
	電卓 加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。
	予定表 予定を知らせたり、会議出席依頼を作成したりします。
	カメラ 静止画やビデオクリップの撮影ができます。
	ClearVue PDF PDFファイルを見ることができます。
	コミュニケーションマネージャ 本機の接続 (ワイヤレスLAN、Bluetooth®、ActiveSyncを含む) を管理したり、データサービス (3Gパケット通信など) を切断したり、電話のオン/オフを切り替えたり、着信音/バイブレーションモードを切り替えたり、あるいはダイレクトプッシュ機能を有効/無効にしたりします。
	連絡先 友達や同僚の連絡先を管理します。
	ダウンロードエージェント ダウンロード状況やインターネットからダウンロードしたコンテンツに関する情報を表示します。
	Excel Mobile 新しいブックを作成したり、Excelブックを表示したり、編集したりすることができます。
	ファイルエクスプローラ ファイルを整理したり、管理したりすることができます。
	ゲーム Bubble Breakerとソリティアの2種類のゲームがあります。
	ヘルプ プログラムのヘルプを読むことができます。
	Internet Explorer WebサイトやWAPサイトをブラウズしたり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードしたりすることができます。

アイコン	説明
	Outlook 電子メール、SMSメッセージを送受信することができます。
	メモ 手書きまたはタイプしたメモ、描画、記録を作成することができます。
	電話 電話の発着信などを行います。また、サービス設定等も行うことができます。
	静止画とビデオ 本機やメモリカードに保存されている静止画やビデオファイルの表示、整理、並べ替えができます。キャプチャした静止画は本機の「マイピクチャ」フォルダに、またビデオクリップは「マイビデオ」フォルダに保存されます。
	PowerPoint Mobile PowerPointスライドやプレゼンテーションを見ることができます。
	検索 本機に保存されている連絡先、データ、その他の情報を検索します。
	USIMマネージャ USIMカードに保存されている連絡先を管理します。またUSIMカードに保存されているデータを本機の連絡先にコピーすることもできます。
	仕事 現在の仕事の進捗や優先度などを管理できます。
	Windows Media® Player メディアファイルを再生できます。
	Word Mobile Word文書を作成、表示、編集できます。
	Zip ファイルを通常のZIPフォーマットに圧縮することにより、メモリを節約し、メモリスペースを空けることができます。

1.8 各種設定

スタート > **設定**をタップした後、画面下部にある**個人用**、**システム**および**接続**タブをタップしてください。

個人用タブ

アイコン	説明
	ボタン ハードウェアボタンにプログラムを割り当てることができます。
	入力 各入力方式にオプションを設定することができます。
	ロック パスワードを設定することができます。
	メニュー スタートメニューに表示するプログラムを設定することができます。
	オーナー情報 個人情報を入力することができます。
	電話 着信音などの電話の設定をカスタマイズしたり、USIMカードにPIN番号を設定したりすることができます。
	音と通知 イベントや通知、その他のサウンドを有効にして、イベント毎に異なる種類の通知を設定することができます。
	Today Today画面のデザインとアイテムをカスタマイズすることができます。

システムタブ

アイコン	説明
	バージョン情報 本機に名前を指定することができます。またWindows Mobile® バージョンと著作権情報も表示されます。
	バックライト バックライトのタイムアウト時間と明るさを設定することができます。
	証明書 インストールされている証明書についての情報を表示することができます。

アイコン	説明
	ストレージをクリア メモリからすべてのデータとファイルを消去し、本機を工場出荷時の設定に戻すことができます。
	時計とアラーム 滞在場所に合わせて本機の日付と時間を変更したり、旅行中であればタイムゾーンを変更することができます。 特定の曜日と時間にアラームを設定することもできます。
	装置情報 ファームウェアのバージョン、ハードウェア、ID、通話時間などの情報を表示することができます。
	エラー報告 本機のエラー報告機能を有効/無効にすることができます。この機能を有効にした状態でプログラムエラーが発生すると、プログラムとコンピュータの状態についての技術データがテキストファイルとしてログ化され、Microsoftのテクニカルサポートセンターに送信されます (送信するよう設定されている場合のみ)。
	キーロック スリープモードに設定されているときに、電源ボタン以外のすべてのボタンをロックすることができます。これにより、誤って本機のスイッチをオンにして不要に電源を消耗するのを防止することができます。
	メモリ 本機のメモリ割り当て状態とメモリカード情報を表示することができます。また現在起動中のプログラムは中止します。
	マイクロフォンAGC 録音中に自動的に音量を調整することができます。
	電源 バッテリー残量を表示することができます。電力を不要に消耗しないように、画面が自動的にオフになるまでの時間を設定することができます (本機をスリープモードにします)。
	地域 使用する言語や、本機で表示する数字、通貨、日時のフォーマットを設定することができます。
	プログラムの削除 インストールしたプログラムを削除することができます。
	画面 画面の方向を変更したり、タッチスクリーンを補正したり、文字サイズを変更することができます。

接続タブ

アイコン	説明
	ビーム 本機が赤外線やBluetooth®で通信できるように設定することができます。
	Bluetooth Bluetooth®機能をオンにして、デバイスを検出可能モードに設定し、他のBluetooth®デバイスを検出できるようにすることができます。
	接続 本機がインターネットやプライベートのローカルネットワークに接続できるように、パケット通信 (UMTS、3G)、Bluetooth®など、モデムの種類を設定することができます。
	CSDラインの種類 CSD (Circuit Switch Data) 接続を行うときに使用する回線の種類を設定することができます。接続を確立できない場合を除き、通常は設定を変更する必要はありません。
	GPRSの設定 GPRS認証方式を設定することができます。
	ネットワークカード 有効なワイヤレスネットワークを検出することができます。またネットワークカードの設定をすることもできます (本機にカードが挿入されている場合)。
	ワイヤレス LAN アクティブなワイヤレスネットワークについての情報を表示し、ワイヤレスLAN設定をカスタマイズすることができます。

1.9 暗証番号

発着信規制用暗証番号

ご契約時の4桁の暗証番号です。本機で発着信規制サービス (「3.7 オプションサービス」の「発着信規制サービス」参照) の設定を行なうときに使用します。

- 入力を3回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。なお、詳しくは、「A.3 お問い合わせ先一覧」までご連絡ください。

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の暗証番号です。オプションサービスを一般電話から操作するときに必要です。

- 交換機用暗証番号は本機の操作では変更できません。交換機用暗証番号を変更するときには、手続きが必要となります。詳しくは、「A.3 お問い合わせ先一覧」までご連絡ください。

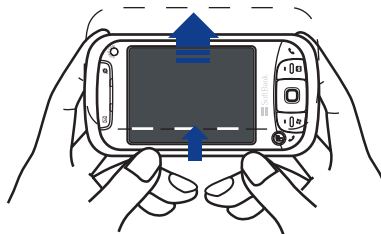
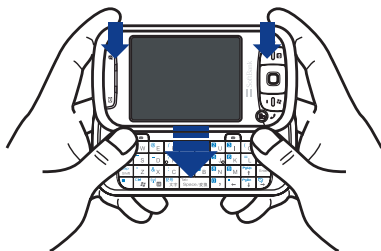
注意

- 交換機用暗証番号と発着信規制用暗証番号は安全な場所に書き留めておいてください。万一紛失された場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。
- 暗証番号は他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

第2章

情報の入力と検索

2.1 ハードウェアキーボードによる情報入力

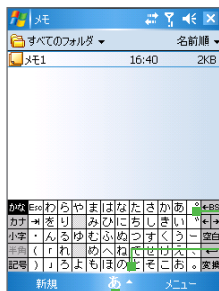
キーボードを開く/閉じる

表示部をスライドさせて開きます。

「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

注意　無理な力を加えないでください。故障の原因となります。

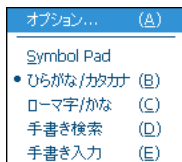
ハードウェアキーボードでは次のようなことが可能です。

- すべて大文字で入力するには、まず ■ を押して、次に Cap Shift を押してください。すべて小文字に戻すには、もう一度これらのボタンを押してください。
- 1文字だけ大文字で入力するには、Cap Shift を押してください。
- 数字や記号 (キー左上に青字で印字) を入力するには、■ を押してください。
- 記号パッドを開くには、■ を押して、次に 記号 文字 を押してください。
- 左/右ソフトキー ▬ / ▬ を押すと、画面下部に表示されているコマンドを実行します。
- ok を押すと、データ入力を確認したり、使用中のプログラムを終了したりします。
- Ctrl を押すと、スタートメニューが開きます。
- 前後左右に移動するには、矢印キー ← / PgUp ↑ / PgDn ↓ / → を使用してください。

2.2 入力パネルによる情報入力

メニューバー上の入力パネルアイコンをタップして、入力用キーボードを表示します。入力方法としては、Symbol Pad、ひらがな／カタカナ、ローマ字／かな、手書き検索、手書き入力に対応しています。入力セレクタ矢印 (入力パネルアイコンの右側) をタップすると、入力方法をメニューから切り替えることができます。

入力パネル (キーボード)

入力セレクタ矢印

入力パネルアイコン

入力方法メニュー

アイコン	入力方法
	Symbol Pad
	ひらがな/カタカナ
	ローマ字/かな
	手書き検索
	手書き入力

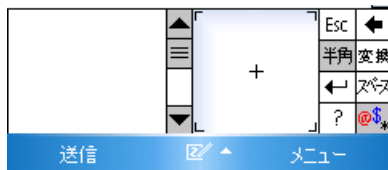
2.3 ひらがな/カタカナの入力

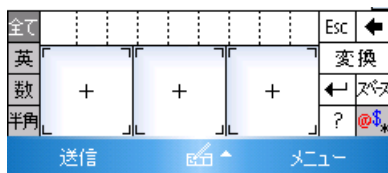
1. 入力セレクタ矢印をタップした後、ひらがな/カタカナ（あ）をタップしてください。
2. 入力パネルで直接キーをタップすると、文字が入力されます。ひらがなを入力する場合は（かな）を、カタカナを入力する場合は（カナ）を選択してください。また、小文字を入力する際には（小字）をタップしてください。文字を漢字に変換させたい時には（変換）をタップして、入力したい漢字を選択してください。

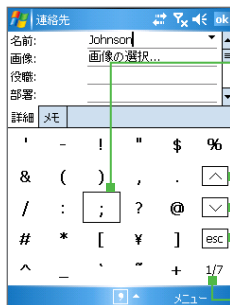
2.4 ローマ字/カナの入力

基本的な使用方法はひらがな/カタカナと同じです。

2.5 手書き検索

入力ボックスに書き込まれた文字の画数が多いなどの理由により正しく認識されない場合には手書き検索（ ）が便利です。手書き検索（ ）では、入力ボックスに書き込まれた文字と似た文字が左側のボックスに表示されます。探したい文字がない場合、スクロールバーを動かして文字を探してください。

2.6 手書き入力

1. プログラムで入力セレクタ矢印をタップした後、手書き入力（ ）をタップしてください。
2. 入力パネルの下の3つのボックスにスタイラスで文字を書き込むと、その文字が活字となって入力パネルに表示されます。（全て）を選択すると、ひらがな、カタカナ、英数、記号など全ての文字の候補が自動的に表示されます。英文字や数字だけを入力する場合、先に（英）（数）をタップする方法もあります。

2.7 Symbol Pad の入力

Symbol Padには、括弧、カギ括弧、通貨記号などの一般的な記号や、句読点、特殊文字などが表示されます。

選択したい記号をタップします。

ナビゲーションコントロールやハードウェアキーボードを使用する場合は、上下左右を押して画面上で有効な記号をナビゲートし、ENTERを押すとその記号が選択されます。

タップすると、前の記号ページが表示されます。

タップすると、次の記号ページが表示されます。

タップすると、記号を選択せずにSymbol Padを閉じます。

現在のページと、記号ページの合計を示します。

Symbol Padを開くには

- 入力セレクタ矢印をタップして、**Symbol Pad**をタップしてください。
- ハードウェアキーボードで を押し、次に 記号 文字 を押してください。

記号を選択するには

1. Symbol Pad画面で / をタップし、記号ページをブラウズしてください。
2. 記号をタップするとその記号が選択され、Symbol Padを閉じます。選択した記号は文書に挿入されます。

2.8 メモ

手書きやキーボード入力でメモを作成したり、ボイスメモを録音したりすることができます。

メモに情報を入力する

ハードウェアキーボード、入力パネル、手書き入力などの方法でメモに情報を入力することができます。

既定の入力モードを設定するには

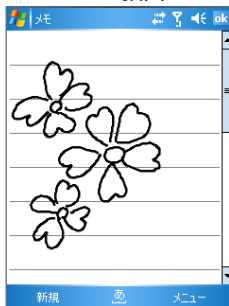
1. **スタート** > **プログラム** > **メモ**をタップしてください。
2. メモの一覧画面で**メニュー** > **オプション**をタップしてください。
3. **既定のモード**で、次のいずれかをタップしてください。
   - **メモ**　メモに描画したり、手書きでテキストを書きたい場合。
   - **入力**　タイプしたメモを作成したい場合。
4. **OK**をタップしてください。

メモを作成するには

1. **スタート** > **プログラム** > **メモ**をタップしてください。メモの一覧画面で**新規**をタップしてください。
2. メニューバーの**入力方法**アイコンの横にある**入力セレクタ**矢印をタップし、入力方法を選択してください。
3. メモ作成終了後、**OK**をタップしてください。

注意　3本の罫線にまたがって手書きされた文字は、テキストではなく描画とみなされます。

メモに描画するには

1. **スタート** > **プログラム** > **メモ**をタップしてください。
2. メモの一覧画面で**新規**をタップしてください。
3. スタイラスを使って画面に描画してください。
4. **メニュー** > **描画**をタップしてください。

5. 描画の周りに選択ボックスが表示されます。
6. 描画作成終了後、**OK**をタップするとメモの一覧画面に戻ります。

メモ　描画をタップしたままにし、スタイラスを離すと、描画が選択されます。

ボイスメモの録音

音声を録音し、ボイスメモとして保存することができます。

ボイスメモを録音するには

1. **スタート** > **プログラム** > **メモ**をタップしてください。
2. **メニュー** > **録音ツールバーの表示**をタップして、録音ツールバーを表示してください。
3. **録音**アイコン ( ) をタップし、録音を開始してください。
4. **中止**アイコン ( ) をタップすると、録音を停止します。

メモに録音を追加するには

1. メモの一覧画面からメモを新規作成するか、または既存のメモを開いてください。
2. メニュー > 録音ツールバーの表示をタップして、録音ツールバーを表示してください。
3. 録音アイコン ( ) をタップして録音を開始してください。
4. 停止アイコン ( ) をタップすると、録音を停止します。
5. 画面にスピーカーのアイコンが追加されます。タップすると録音した内容を再生します。

録音形式を変更するには

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **入力**をタップしてください。
2. **オプション**タブをタップして、**録音形式**から形式を選択します。
3. **OK**をタップしてください。

メモ　録音形式はメモから変更することもできます。メモの一覧画面で**メニュー** > **オプション** > **入力オプション**をタップします。

2.9 情報の検索

「My Documents」フォルダ、本機に挿入したメモリカードに保存されているファイルやその他のアイテムを検索することができます。ファイルやアイテムは名前やアイテムに含まれる単語を使って検索することが可能です。

ファイルやアイテムを検索するには

1. **スタート** > **プログラム** > **検索**をタップしてください。
2. 検索方法を選択してください。

   検索フィールド

   - ファイル名などのキーワードから検索することができます。
   - 下矢印 (▼) をタップすると、以前入力したキーワードを表示することができます。

   種類フィールド

   - 下矢印アイコン (▼) をタップし、リストからデータ形式を選択して検索することができます。
3. **検索**をタップするとシステムが「My Documents」フォルダとサブフォルダから一致したファイルを検索します。
4. **結果**リストから、開きたいアイテムをタップしてください。

注意　メモリカードに保存されているファイル名の横には、メモリカード記号が表示されます。

第3章
電話機能の使い方

3.1 電話の使い方

自分の電話番号を確認する

スタート > **プログラム** > **USIMマネージャ**をタップします。

マイナンバー (USIM) の後の番号が、お客様の電話番号です。

USIM マネージャ

マイナンバー(USIM) XXXXXXXXX

#	名前	電話
1	あかさたは	XXXXXXXXX
2	あおいいうう	XXXXXXXXX
3	あかさたは	XXXXXXXXX

電話機能をオン/オフにする

航空機の機内や医療機関の中など、携帯電話の電源を切らなければならない場合、次のいずれかの方法で電源をオフにします。

- Today画面で**コミュニケーションマネージャ**アイコン ( ) をタップしてください。コミュニケーションマネージャの画面で**電話**アイコン ( ) をタップすると、電話機能がオフになります。
- **電波**アイコン ( ) をタップした後、**フライトモードに設定**をタップしてください。

メモ　フライトモード設定中および解除後の各機能の状態は次のようになります。

フライトモードに設定したとき:

- 電話機能はオフになります。
- ワイヤレスLANはオフになります。
- Bluetooth® はオフになります。

フライトモードを解除したとき:

- 電話機能はオンになります。
- ワイヤレスLANはオフのままです。
- Bluetooth® はフライトモード設定前の状態に戻ります。

音量の調整

1. スピーカーアイコン ( ) をタップしてください。
2. 音量から次の作業を行ってください。
   - スライダーを使って通話音、着信音、通知音などのスピーカー音量 ( ) や、各種イベント音、プログラム音、タップ音などのシステム音量 ( ) を調整します。
   - バイブレート、オフを選択した場合は、スライダーは無効になります。

注意
- 通話中の音量調整は、通話中に行ってください。
- バイブレートに設定されているときには、着信音とシステム音が自動的に無音になり、着信があったときには振動で通知します。タイトルバーにマナーモードに設定されていることを示すアイコン ( ) が表示されます。

3.2 発信方法

電話画面、連絡先、短縮ダイヤル、通話履歴、USIMマネージャから発信することができます。

電話画面から発信する

電話画面を開くには、次のいずれかの操作を行ってください。

- **スタート** > **電話**をタップしてください。
- 通話ボタン ( ) を押してください。

通話ボタン

- 電話画面で電話番号を入力し、**通話**ボタンをタップしてください。ハードキーの通話ボタンを押しても同じように発信操作を行うことができます。

キーパッド

通話ボタン

メモ　間違った番号を入力した場合は、矢印 (←) をタップすると番号が1桁ずつ消去されます。矢印をしばらくタップしたままにすると、番号全体が消去されます。

連絡先から発信する

連絡先の登録方法については7.3連絡先をご覧ください。

スタート ＞ 連絡先をタップして、次のいずれかの操作を行ってください。

- 上下のナビゲーションコントロールボタンを押して連絡先を選択する。（連絡先に複数の電話番号が登録されている場合、連絡先選択後、左右のナビゲーションコントロールボタンを押すたびに電話番号が変わります。）発信したい番号が表示された後、通話ボタンを2回押します。
- 連絡先リストで連絡先をタップし、発信先の番号をタップしてください。
- 連絡先をタップしたままにして、ショートカットメニューから**勤務先に電話する**、**自宅に電話する**、**携帯電話に電話する**のいずれかをタップしてください。

通話履歴から発信する

1. 電話画面で**通話履歴**ボタンをタップしてください。
2. 発信したい番号を選択して、ダイヤルをタップします。

メモ　通話履歴画面からメニュー ＞ フィルタをタップすると履歴別に表示させることができます。

短縮ダイヤルから発信する

短縮ダイヤルを使うと、よくかける連絡先に1回のタップで即座に発信することができます。たとえば、連絡先Ａを短縮番号2に割り当てた場合、電話画面の をタップしたままにすると連絡先Ａに発信することができます。

短縮ダイヤルエントリを作成するには

1. 電話画面で**短縮ダイヤル**をタップしてください。
2. **メニュー ＞ 新規作成**をタップしてください。
3. 連絡先をタップしてください。短縮ダイヤルに登録する電話番号を選択してください。
4. **短縮番号**ボックスで、新しく設定する短縮ダイヤルの番号を選択してください。

注意　短縮番号**1**はボイスメール用に割り当てられているため、新規登録時には他の有効な短縮番号に割り当てます。

メモ
- 連絡先から短縮ダイヤルのエントリを作成するには、連絡先の名前をタップしたままにして**短縮ダイヤルに追加**をタップし、短縮ダイヤルを設定する番号を選択してください。
- 短縮ダイヤルのエントリを削除するには、**短縮ダイヤル**リストでエントリをタップしたままにして、**削除**をタップしてください。

USIMマネージャから発信する

1. **スタート > プログラム > USIMマネージャ**をタップしてください。USIMカードのコンテンツが読み込まれるまでしばらくお待ちください。
2. 発信先となる人の名前か電話番号をタップしたままにして、**ダイヤル**をタップしてください。

3.3 着信に応答する

着信があると、応答するか拒否するかを選択することができます。

着信に応答/拒否するには

- 応答する場合は**応答**をタップするか、通話ボタンを押してください。
- 拒否する場合は**拒否**をタップするか、終了ボタンを押してください。

メモ　通話中以下の操作が行えます。

- 保留をタップすると、通話が保留され、相手側には保留音が流れます。
- スピーカオンをタップするとハンズフリーで話をしたり、他の人にも会話を聞かせたりすることができます。
- ミュートをタップすると自分の声が相手に聞こえなくなります。
- 相手からの着信が非通知または公衆電話からの場合「不明」と表示されます。

警告！　スピーカーフォンがオンになっているときには本機を耳に当てないでください。

通話を終了するには

終了をタップするか、終了ボタンを押して通話を終了します。

3.4 TVコールの発信

TVコールに対応している機種との間でご利用いただくことができます。

TVコールを発信するには

- 電話画面で電話番号を入力し、TVコール をタップしてください。
- 連絡先をタップしたままにして、ショートカットメニューから、**TVコール**をタップしてください。
- 通話履歴から任意の電話番号か連絡先をタップしたままにして、ショートカットメニューからTVコールをタップしてください。

注意 接続が確立されて相手の画像が現れるまでに数秒かかります。
また、電波状態によっては表示に時間がかかったり、画像が乱れたりする場合があります。

メモ TVコールの接続が失敗した場合は、もう一度試すか、音声通話に切り替えるか、あるいは SMSメッセージを送信するかを確認するメッセージが表示されます。

TVコールの設定変更

TVコール中であっても、画像サイズ、明るさ、使用するカメラなどの設定を変更することができます。

1 **情報エリア**
通信事業者名、連絡先またはUSIMマネージャに登録された情報、通話時間などが表示されます。設定方法については、TVコールオプションの設定 (④情報を表示) をご確認ください。

2 **画像表示エリア**
7の画像切り替えの設定に基づいて、自分や相手の画像が表示されます。

3 **明るさ調整**
本機のカメラが映し出す画像の明るさを調整します。

4 **カメラオン/オフ**
カメラをオフにすると、TVコールオプションの設定 (①静止画を表示) による画像が表示されます。

5 **オーディオミュート/ミュート解除**
オーディオをミュートを設定すると相手にこちらの声を送信しません。

6 **メイン/サブカメラ**
メインカメラ（本体背面）とサブカメラ（本体前面）を切り替えます。

7 **画像切り替え**
TVコール中の画像表示を切り替えます。

8 **終了**
TVコールを終了します。

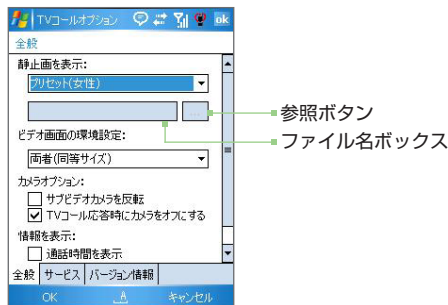
両者（マイビデオ小）
相手の画像を大きく、自分の画像を小さく表示します。

両者（マイビデオ大）
相手の画像を小さく、自分の画像を大きく表示します。

両者（同等）
自分の画像と相手の画像を同じサイズで表示します。

相手のみ
相手の画像だけを表示します。

TVコールオプションの設定

電話画面または、TVコール中の画面で、**メニュー** > **TVコールオプション**をタップしてください。次のオプションを設定することができます。

参照ボタン
ファイル名ボックス

① **静止画を表示**
カメラをオフにしたときに表示する静止画を選択します。

- **プリセット (女性)**
  女性の静止画を表示します。
- **プリセット (男性)**
  男性の静止画を表示します。
- **カスタム イメージ**
  マイピクチャに保存されている画像を選択します。カスタム イメージを選択すると、画像ファイルを選択できるようにファイル名ボックスと参照ボタンが有効になります。
- **最後のビデオフレーム**
  カメラを停止する直前の画像を静止画として使用します。

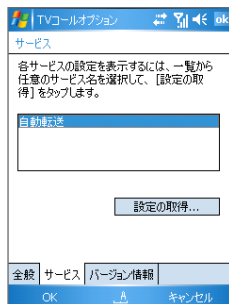
② **ビデオ画面の環境設定**
TVコールの設定変更に記載の画像切り替えと同様、TVコール中の画像表示を切り替えます。

③ **カメラオプション**

- **サブカメラのビデオを反転する**
  画面に表示される自分のビデオ画像を反転させ、相手の画面に表示されるビデオ画像と同じ向きにすることができます。
- **TVコールの応答時にカメラをオフにする**
  「3.4 TVコールの発信」の「TVコールの設定変更」に記載のカメラオン/オフと同様、選択すると自分の画像を相手に送信せずに、TVコールオプションの設定に記載の**静止画を表示**で選択したオプションが表示されます。

④ **情報を表示**

- **通話時間を表示**
  通話時間を情報エリアに表示します。
- **電話番号と名前を表示**
  連絡先またはUSIMマネージャに登録された情報が情報エリアに表示されます。

TVコール転送電話を設定する

1. 電話画面から、**メニュー > TVコールオプション > サービス**タブを選択します。
2. **自動転送**をタップし、**設定の取得**をタップします。

   転送条件の設定については、本章の「転送電話サービス」を参照してください。

3.5 TVコールに応答する

TVコールに応答/拒否するには

- TVコールに応答するには、応答をタップするか通話ボタンを押します。
- TVコールを拒否するには、拒否をタップするか終了ボタンを押します。

メモ
- 相手からの着信が非通知の場合「不明」と表示されます。
- TVコールでは、Bluetooth®に対応したヘッドセットはご利用いただけません。
- 通話中にメニューをタップして保留を選択すると、サブカメラがオフになり、オーディオミュートが設定されます。

TVコールを終了するには

終了をタップするか、終了ボタンを押してTVコールを終了してください。

3.6 マナーモード

マナーモードを設定すると、振動により着信をお知らせします。

マナーモードを設定する

- 本体右側のマナーボタンを長押ししてください。画面にマナーモードアイコン ( ) が表示されます。

マナーボタン

マナーモードを解除する

- マナーボタンを長押ししてください。画面のマナーモードアイコンが消えます。

メモ　マナーモード設定中の鳴動は以下のようになります。

- 着信音と操作音はミュートになります。
- キーパッド、システム警告、通知などもすべてミュート設定になります。
- Windows Media® Playerでのオーディオ再生とメモはミュート設定になります。
- カメラのシャッター音とセルフタイマー音は鳴ります。

注意　マナーモード中、ステレオイヤホンマイクを接続してもイヤホンから着信音は聞こえません。Bluetooth® 対応のヘッドセットを接続した場合、ヘッドセットから着信音が聞こえます。

3.7 オプションサービス

- 電波の届かない場所では、本機から操作できません。
- サービスの詳細については弊社ホームページをご覧ください。

サービス	内容
発着信規制サービス	電話をかけたり、電話を受ける際の条件を設定することができます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した番号へ転送することができます。
割込通話サービス	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をることができます。
ボイスメール (留守番電話)	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりすることができます。
多者通話サービス	通話中に他の相手に電話をかけ、最大6人同時に通話をすることができます。また、相手を切り替えながら交互に通話することができます。

オプションサービスの設定取得

1. 次のいずれかの方法でオプションサービスを選択する画面を開きます。
   - **スタート** > **設定** > **個人用タブ** > **電話** > **サービスタブ**の順に選択してください。
   - 電話画面から、**メニュー** > **オプション** > **サービスタブ**を選択してください。
2. サービスを選択し、**設定の取得**をタップしてください。

注意 以下の項目についてはサービスタブで表示されません。

- ボイスメール（留守番電話）の設定については、ボイスメールタブから行なってください。
- 多者通話サービスについては、本章の「多者通話サービス」を参照してください。

発着信規制サービス

本機では発着信制限と表示され、設定できる規制内容は次のとおりです。

着信規制	**すべての通話**	すべての着信を規制。
	ローミングサービス利用時の通話	海外での着信をすべて規制。
発信規制	**すべての通話**	緊急電話をのぞくすべての発信を規制。
	国際通話	すべての国際電話の発信を規制。
	自国以外への国際通話	滞在国への発信のみに規制。

注意

- 発着信規制サービスの操作には、ご契約時にお決めいただいた「発着信規制用暗証番号」が必要になります。なお、本機では誤ったパスワードを入力した場合でも「ネットワークから設定を読み取れません。後で設定を表示するか、データ接続を解除してもう一度やり直してください。」と表示されます。念のため、発着信規制用暗証番号をもう一度ご確認ください。
- 発着信規制用暗証番号の入力を３回間違えると、発着信規制サービスの設置変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、「A.3 お問い合わせ先一覧」までご連絡ください。

メモ 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になられる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

発着信規制サービスを設定する

1. 「3.7 オプションサービス」の「オプションサービスの設定取得」を参照し、**サービス**タブを開いてください。
2. **発着信制限**を選択し、**設定の取得**をタップしてください。
3. 着信および発信制限する項目を選択し、**OK**をタップしてください。
4. 発着信制限のパスワード (発着信規制用暗証番号) を入力し、**OK**をタップしてください。

発着信規制サービスを解除する

1. 「発着信規制を設定する」の1と2を繰り返してください。
2. 着信規制と発信規制のリストで、**オフ**を選択してください。
3. **OK**をタップしてください。

発信者番号通知サービス

発信者番号通知サービスを設定する

1. 「3.7 オプションサービス」の「オプションサービスの設定取得」を参照し、**サービス**タブを開いてください。
2. 発信者番号通知を選択し、**設定の取得**をタップしてください。
3. 自分の電話番号をすべてのダイヤル先に通知するかどうかを選択してください。
4. **OK**をタップしてください。

メモ　上記の設定にかかわらず、電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルすることもできます。

- お客様の番号を相手に知らせるには、相手の電話番号の前に186と入力してください。
- お客様の番号を非表示にするにはるには、相手の電話番号の前に184と入力してください。

転送電話サービス

転送電話を設定する

1. 「3.7 オプションサービス」の「オプションサービスの設定取得」を参照し、**サービス**タブを開いてください。
2. **自動転送**を選択し、**設定の取得**をタップしてください。
3. 着信があった際の転送条件を設定します。
    - すべての着信通話を設定する
      入力した電話番号に無条件で転送します。
    - 応答なし
      選択した秒数後、入力した電話番号に転送します。
    - 圏外/電源オフ時
      圏外や電源オフ時、入力した電話番号に転送します。
    - 通話中
      通話中、入力した電話番号に転送します。

割込通話サービス

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

割込通話サービスを設定する

1. 「3.7 オプションサービス」の「オプションサービスの設定取得」を参照し、**サービス**タブを開いてください。
2. **割り込み通話**を選択し、**設定の取得**をタップしてください。
3. **割込通話**画面で**設定**を選択し、**OK**をタップしてください。

割り込み通話に応答する

1. 通話中に電話がかかってくると、割り込み音が2回なります。応答をタップすると、後からかけてきた相手と通話することができます。(初めに通話していた相手は、保留状態になります。)
2. 切り替えをタップするたびに、相手が切り換わります。通話を終了する場合、終了をタップするか終了ボタンをおしてください。

注意　割込通話サービスはテレビ電話では使用できません。

割込通話サービスを解除する

1. 本章「割り込み通話サービスを設定する」の手順1と2を行ってください。
2. 通知しないを選択してください。
3. OKをタップしてください。

留守番電話とメッセージ

留守番電話サービスを設定する

1. 「3.7 オプションサービス」の「オプションサービスの設定取得」を参照し、**ボイスメール**タブを開いてください。
2. **設定を有効にする**を選択してください。留守番電話サービスのデフォルト設定が有効になります。
   デフォルト設定は以下のとおりです。

   応答なし：チェックあり

   電話番号：09066517000

   転送までの時間：20秒

   圏外／電源オフ時：チェックあり

   通話中：チェックあり

メモ　**サービス**タブの**自動転送**から留守番電話の設定を変更することができます。詳しくは「3.7 オプションサービス」の「転送電話を設定する」を参照してください。ただし、電話番号 (09066517000) を変更すると、留守番電話が機能しなくなるのでご注意ください。

メッセージを確認する

新しいボイスメッセージが録音されると画面にてお知らせします。電話画面を開き「1416」に発信してください。

メモ　メッセージ確認用の番号 (1416) が変更になった場合は。新しい番号を設定してください。電話画面から、メニュー ＞ オプション ＞ サービスタブを選択し、ボイスメールとSMSメッセージを選択すると変更することができます。

多者通話サービス

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

多者通話サービスを設定する

1. 電話画面から、最初の相手に電話をかけてください。
2. 最初の相手が電話に応答したら、**保留**をタップして一時的に最初の相手を保留にします。画面左下のキーパッドをタップして、2人目の相手に電話をかけてください。
3. **メニュー > 多者通話**をタップしてください。2人目の相手が応答した時点で、通話できます。
4. 3人目の相手に電話をかけるには、**保留**をタップし、番号をダイヤルしてから**メニュー > 三者通話**をタップしてください。

メモ　多者通話中にほかの相手を保留にして1人の相手とだけ通話したい場合は、**メニュー > プライベート**をタップし、相手を選択して**プライベート**をタップしてください。**メニュー > 多者通話**をタップすると、通話中の相手がすべて多者通話に戻ります。

3.8 国際電話のかけ方

国際電話をご利用になるには、別途お申し込みが必要です。サービスの詳細については弊社ホームページをご覧ください。

1. 国際コード、国番号、相手の番号 (市外局番から0を除く) を入力して通話をタップしてください。

3.9 国際ローミング

ご利用になるには別途お申し込みが必要です。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

帯域の設定

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **電話** > **帯域**タブをタップしてください。
2. ローミング先で使用するネットワークタイプを選択してください。
3. **GSM/UMTS帯域**リストから、ローミング先で使用する周波数をを選択してください。
4. **OK**をタップしてください。

メモ　帯域の選択については、以下をおすすめします。

- ヨーロッパやアジアなどでは、GSM (900+1800)+UMTS (2100)
- 北米などでは、GSM (1900+850) + UMTS (1900+850)
- 日本ではUMTS (2100+800)

ネットワーク設定

お客様がいる国や地域に応じて事業者を切り替えることができます。（自動で切り替えることもできます）

利用する事業者を自動または手動で設定する

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **電話** > **ネットワーク**タブをタップしてください。
2. ネットワークの選択で自動または手動を選択。
3. 手動を選択した場合は、検索結果から利用可能なネットワークを選択し、**OK**をタップしてください。

メモ　手動の時に選択をタップしても、利用可能なネットワークが表示されます。

優先するネットワークおよび順番を設定する

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **電話** > **ネットワーク**タブをタップしてください。
2. **ネットワークの**検索をタップしてください。
3. 優先するネットワークを選択し、優先する順番に並べて**OK**をタップしてください。

優先するネットワークのリストに新規登録する

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **電話** > **ネットワーク**タブをタップしてください。
2. **ネットワークの登録**をタップしてください。

第4章

情報の同期

4.1 ActiveSyncの設定

ActiveSyncは本機の情報とPCの情報 (Outlookのコンテンツなど) を同期させます。またユーザの会社やインターネットサービスプロバイダがExchange Active SyncをインストールしたMicrosoft Exchange Serverを使用している場合は同期させることができます。

ActiveSyncを使用すると、次のようなことが可能です。

- Outlookメール、連絡先、予定表、仕事などの情報や、画像、ビデオ、音楽などのメディアファイルを本機とPCの間で同期させます。
- PCの電源が切ってあっても常に最新の情報を得られるように、本機のOutlookメール、連絡先、予定表の予定、仕事を直接Exchange Serverと同期させます。
- 同期させずに本機とPCの間でファイルをコピーします。
- 同期させる情報の種類を選択し、同期させる情報の量を指定します。たとえば、過去何週間分の予定を同期させるかを選択することができます。
- 本機のプログラムを追加または削除します。詳しくは、「5.2 プログラムの追加と削除」を参照してください。

ActiveSyncのインストールと設定

1. お使いになる前にディスクに記載されている説明にしたがって、PCにActiveSyncをインストールしてください。
2. ActiveSyncをインストールし、本機をPCに接続すると自動的に同期セットアップ ウィザードが起動します。ウィザードにしたがってPCと本機の同期パートナーシップを確立してください。**次へ**をクリックしてください。
3. 本機とPCを同期させる場合は、**Microsoft Exchange Serverを実行中のサーバーと直接同期する**を選択解除してください。**次へ**をクリックして、手順8に進んでください。

4. 本機をExchange Serverと同期させる場合は、**Microsoft Exchange Serverを実行中のサーバーと直接同期する**を選択し、**次へ**をクリックしてください。

5. Exchange Serverの認証画面で、Exchange Serverのアドレス、ユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力してください。

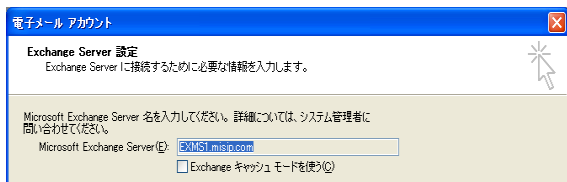
同期セットアップ ウィザード
Exchange サーバーの資格情報
Microsoft Exchange Server を実行するサーバーに対する認証のための情報を入力してください
サーバー アドレス: servername.domain
メモ: Outlook Web Access を使用する場合は、OWA サーバー アドレスと同じです。
このサーバーは暗号化 (SSL) 接続が必要
ログオン情報
ユーザー名: John_Smith
パスワード: ********
ドメイン: HTCTAIPEI
パスワードを保存する
(自動同期を行う場合は必須)
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

Exchange Serverアドレスとドメイン名が分からない場合は、ネットワーク管理者にお尋ねになるか、または次の手順にしたがってください。

- Outlookで**ツール** > **電子メールアカウント**をクリックしてください。
- **既存の電子メール アカウントの表示と変更**を選択してください。
- **Microsoft Exchange Server**をダブルクリックしてください。
- Exchange Server設定画面には、Exchange Server名が表示されます。

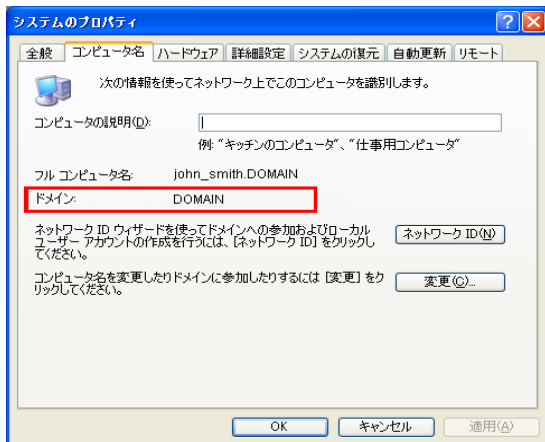
電子メール アカウント

Exchange Server 設定
Exchange Server に接続するために必要な情報を入力します。

Microsoft Exchange Server 名を入力してください。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。
Microsoft Exchange Server(E): EXMS1.misip.com
Exchange キャッシュ モードを使う(C)

- ドメイン名を確認するには、**スタート** > **設定** > **コントロールパネル**を選択し、**システム**をダブルクリックしてください。
- ［システムのプロパティ］のダイアログボックスで**コンピュータ名**タブをクリックしてください。するとドメイン名が表示されます。

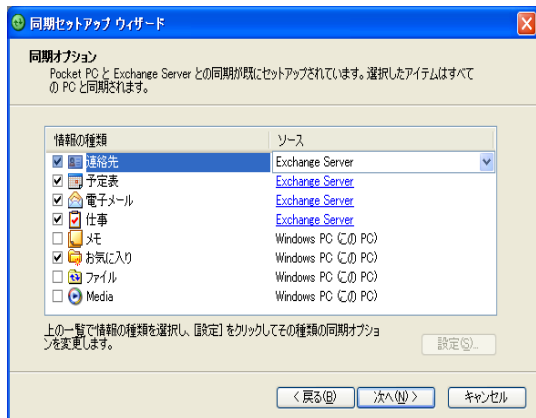
システムのプロパティ

全般 コンピュータ名 ハードウェア 詳細設定 システムの復元 自動更新 リモート

次の情報を使ってネットワーク上でこのコンピュータを識別します。
コンピュータの説明(D):
例: "キッチンのコンピュータ"、"仕事用コンピュータ"
フル コンピュータ名: john_smith.DOMAIN
ドメイン: DOMAIN
ネットワーク ID ウィザードを使ってドメインへの参加およびローカル ユーザー アカウントの作成を行うには、[ネットワーク ID] をクリックしてください。 ネットワーク ID(N)
コンピュータ名を変更したりドメインに参加したりするには [変更] をクリックしてください。 変更(C)...
OK キャンセル 適用(A)

6. 本機でもExchange Serverの設定を入力する必要があります。詳しい説明は、「4.2 情報の動機」の「Exchange Serverとの直接同期」を参照してください。
7. 同期セットアップ ウィザードで**次へ**をクリックしてください。

8. 本機とPCの間で同期させる情報の種類を選択してください。

   本機をPCとExchange Serverの両方と同期させるには、次の手順にしたがってください。

   - 連絡先、予定表、電子メール、仕事のアイテムを同期させる場合は、PCかExchange Serverのどちらと同期させるかを選択してください。これらのアイテムは両方と同期させることはできません。
   - 他の情報の種類もPCと同期させたい場合は、それらを選択してください。

PCとExchange Server上の情報の種類

9. 次へをクリックしてください。
10. 完了をクリックしてください。

ウィザードが完了すると、ActiveSyncが自動的に本機を同期させます。同期が完了したら、PCから本機を外してください。

4.2 情報の同期

USBケーブル、赤外線接続、Bluetooth® 接続を介して本機をPCに接続すると、同期が開始されます。本機をPCに接続したままで本機かPCのどちらかで変更を加えると自動的に同期されます。

同期を手動で開始/中止するには

1. 本機をPCに接続してください。
   - Outlookの情報とPC上の他のローカル情報 (メディアファイルを含む) を同期させるには、Bluetooth®、赤外線、またはUSB接続ケーブルを使って本機とPCを接続してください。
   - Exchange Serverと直接同期する場合は、PCへの接続を介してネットワークに繋ぐか、PCを使用せずに携帯電話のネットワークを介して同期することができます。
2. ActiveSyncで**同期**をタップしてください。同期が完了する前に中止するには、**中止**をタップしてください。

Outlookの情報をPCと同期させる

本機とPCを同期させるように設定してある場合は、Outlookの情報は常に両方で最新の状態になっています。

本機を複数のPCと同期させるように設定したり、PC (複数設定可) とExchange Serverの両方と本機を同期させるように設定することも可能です。複数のPCと同期を取ると、同期するアイテムは同期したものも含めてすべてのPCに表示されます。たとえば、2台の異なるアイテムを持つPC (PC1とPC2) と同期を取るように設定してあり、本機の連絡先と予定表を両方のPCと同期させると (メールについては1台のPCとしか同期できません)、以下のようになります。

場所	新しい状態
PC1	PC2上のOutlookの全連絡先と予定表の予定は、PC1に同期されます。
PC2	PC1上のOutlookの全連絡先と予定表の予定は、PC2に同期されます。
X01HT	PC1とPC2の両方のOutlookの全連絡先と予定表の予定は、本機に同期されます。

同期する情報を変更するには

ActiveSyncは本機のメモリ容量を節約するために、ある一定量の情報しか同期しません。同期させる情報量は、次の手順で変更することができます。

注意　本機で同期の設定を変更する前に、本機をPCから取り外してください。

1. 本機のActiveSyncで、**メニュー > オプション**をタップしてください。
2. 次の操作のいずれか、または両方を行ってください。
   - 同期したいアイテムを選択してください。アイテムを選択できない場合は、リストの中で同じ種類の情報アイテムを選択解除する必要があるかもしれません。
   - 同期したくないアイテムは選択解除してください。
   - 1台のPCとの同期を完全に中止するには、PCをタップした後、**削除**をタップしてください。

注意　同期の設定を変更するには、情報の種類を選択し、**設定**をタップしてください。

Outlookの情報をExchange Serverと同期させる

会社やインターネットサービスプロバイダがExchange Serverを使用している場合は、本機でExchange Serverとの同期を設定することができます。Exchange Server名、ドメイン名、ユーザー名、パスワードなどの情報を準備した上で、手順にしたがってください(PCでExchange Server名とドメイン名を確認する方法については、「4.1 ActiveSyncの設定」の「ActiveSyncのインストールと設定」を参照してください)。

注意　本機で同期の設定を変更する前に、本機をPCから取り外してください。

Exchange Serverとの直接同期

1. 本機のActiveSyncで、**メニュー > サーバーの構成**をタップしてください。Exchange Serverとの同期が設定されていない場合は、**サーバーソースの追加**が表示されます。
2. **サーバー アドレス**でExchange Serverを起動しているサーバー名を入力し、**次へ**をタップしてください。
3. ユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力し、**次へ**をタップしてください。競合を解決するには、**詳細設定**をタップしてください。
4. Exchange Serverと同期させたい情報アイテムの種類を選択してください。
5. 同期の設定を変更するには、情報の種類を選択し、**設定**をタップしてください。
6. **完了**をタップしてください。

Exchange Serverとの予約同期

本機とExchange Serverの間で情報を自動的に同期させるように予約したり、一定間隔で同期を行うように予約したりすることができます。電子メールの量やコストの安い方などを考慮して、どちらかの方法を選択してください。

即座に電子メールを受信してその他の情報を同期するには

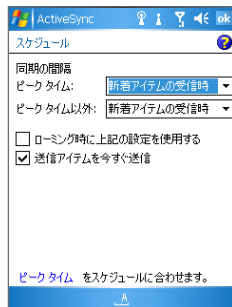
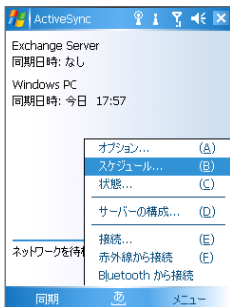
ダイレクトプッシュ技術 (プッシュメール機能) を使うと、Exchange Serverの受信トレイに新着メールが届くと、本機でも新着メールを受信することができます。 また、この機能を活用すると、Exchange Serverで連絡先、予定表、仕事などのアイテムに変更が加えられたり、新しいエントリが追加されたりすると、すぐに本機でも情報が更新されます。ダイレクトプッシュ機能を使用するには、本機に3G (パケット通信) またはUMTS接続機能がなければなりません。

ダイレクトプッシュ機能を使用するには、本機をMicrosoft Exchange Server Service Pack 2 (SP2) とExchange ActiveSyncが導入されたプライベートネットワーク (社内ネットワーク) に接続しなければなりません。ダイレクトプッシュ機能を有効にするには、まず本機とExchange Serverとの間で完全な同期を取る必要があります。

コミュニケーションマネージャの使い方

1. Today画面で**コミュニケーションマネージャアイコン**（ ）をタップしてください。
2. コミュニケーションマネージャ画面で**Microsoftダイレクトプッシュボタン** をタップしてください。 ボタンが になり、電子メールを受信すると直ちに本機でも受信することを示します。
   ボタンが の状態になっているときには、手動で電子メールを取得する必要があります。

ActiveSyncの使い方

1. 本機のActiveSyncで、**メニュー > スケジュール**をタップしてください。
2. **ピーク タイム**と**ピーク タイム以外**で**新着アイテムの受信時**を選択してください。

注意　3G (パケット通信) またはUMTSとワイヤレスLAN接続がともに確立している場合、Direct Push機能は常に3G (パケット通信) またはUMTS接続機能を選択します。この機能を使用する際は、通信事業者のサービスプランに基づき課金されます。

定期同期を予約するには

電子メールの量が多い場合は**ピーク タイム** (通常は就業時間) 中に何回同期を取るかを設定することができます。また電子メールの量が少ない場合は、**ピーク タイム以外**に設定することもできます。

1. 本機のActiveSyncで、**メニュー** > **スケジュール**をタップしてください。
2. 新しい電子メールを頻繁に受信できるようにするには、**ピーク タイム**で短い間隔を選択してください。
3. **ピーク タイム以外**では長い間隔を選択してください。

メモ　ピークタイムとピークタイム以外の曜日と時刻を設定するには、**ピークタイムをスケジュールに合わせます**をタップしてください。

4.3 赤外線やBluetooth® による同期

本機とPCを同期させるには、赤外線やBluetooth® などのローカルワイヤレス技術を使って行うことができます。

赤外線からPCと同期させるには

1. PC上のActiveSyncヘルプの指示にしたがい、赤外線を受信できるようPCを設定してください。
2. 本機とPCの赤外線 (Ir) ポートの間に障害物がないことを確認し、動作可能な範囲内で本機とPCの赤外線ポートを向き合わせてください。
3. 本機で**スタート** > **プログラム** > **ActiveSync**をタップしてください。
4. **メニュー** > **赤外線から接続**をタップしてください。

Bluetooth® からPCと同期させるには

1. PC上のActiveSyncヘルプの指示にしたがって、PCのBluetooth® 機能がActiveSyncに対応するように設定してください。
2. 本機で**スタート** > **プログラム** > **ActiveSync**をタップしてください。

3. **メニュー > Bluetooth**から**接続**をタップしてください。両方のBluetooth® 機能がオンになっていること、また両方が電波受信範囲内にあることを確認してください。
4. Bluetooth® を使って初めてPCに接続する場合は、まず本機でBluetooth® ウィザードを完了して、本機とPCの間でBluetooth® パートナーシップを確立する必要があります。Bluetooth® パートナーシップの確立については、「6.4 Bluetooth® の使い方」の「Bluetooth® パートナーシップ」を参照してください。

注意

- バッテリーを節約するため、Bluetooth® を使用しないときはオフにしてください。
- Bluetooth® により本機とPCを無線接続させるには、PC側にBluetooth® アダプタが必要であり、無い場合にはPC用Bluetooth® アダプタを使用する必要があります。

4.4 音楽、ビデオ、画像の同期

旅行や出張に音楽やデジタルメディアを携帯したい場合は、ActiveSyncとWindows Media® Playerを使って本機で音楽、ビデオ、画像を同期させることができます。

ActiveSyncでは同期させるメディア情報の種類を選択するだけで、その他のメディアの同期設定はすべてWindows Media® Playerで行います。メディアを同期する前に、次のことを行ってください。

- PCにWindows Media® Player Version 10がインストールされているか確認してください。(Windows Media® Player 10はWindows XP以降のバージョンでしか使用できません)。
- USBケーブルでPCと本機を接続してください。本機がBluetooth® か赤外線で接続されているときには、メディアの同期を実行する前に接続を終了してください。
- 本機にメモリカード (32MB以上を推奨) を挿入してください。
- メモリカードとWindows Media® Playerの間で同期のパートナーシップを設定してください。

メディアの同期設定を変更する

ActiveSyncで同期するメディア情報の種類を選択したら、Windows Media® Player再生リストの中から音楽、ビデオ、画像ファイルを同期することができます。そのためには、Windows Media® Playerでこれらのメディアファイルの同期設定を行う必要があります。

メモリカードとの同期パートナーシップの設定

1. PCでWindows Media® Player を起動してください。
2. **同期**タブをクリックしてください。
3. メモリカードを選択してください。
4. **同期の設定**をクリックしてください。
5. 同期を手動で行うか、自動で行うかを選択してください。

本機のWindows Media® Playerについての詳細は、「8.3 Windows Media® Playerの使い方」を参照してください。

第5章

管理する

5.1 カスタマイズ

Today画面のカスタマイズ

Today画面には近い将来の予定、アクティブなタスク、受信メッセージについての情報などが表示され、カスタマイズすることもできます。

Today画面をカスタマイズするには

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **Today**をタップしてください。
2. **デザイン**タブで「デバイスのテーマを選択」から選択してください。
3. **アイテム**タブでToday画面に表示したいアイテムを選択してください。

メモ　Today画面に表示するアイテムの順番を変えるには、**上へ移動**か**下へ移動**をタップしてください。

カスタム背景画を表示するには

Today画面の背景画には、マイピクチャなどに保存されている画像を使用することができます。画像によっては、Today画面の文字が読みにくくなる場合がありますのでご注意ください。

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **Today**をタップしてください。
2. **この画像を背景に使用する**を選択し、**参照**をタップして使用したい画像ファイルを探してください。
3. 画像のファイル名をタップしてください。
4. **OK**をタップしてください。

Today画面に予定を表示するためのオプション設定

予定がたくさんある場合は、Today画面に表示する予定の種類を指定することができます。

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **Today**をタップしてください。
2. **アイテム**タブをタップしてください。
3. **予定表**を選択し、**オプション**をタップしてください。

4. 次のいずれかの操作を行ってください。
   - **次の予定のみ**：スケジュールで次の予定だけを表示。
   - **近い将来の予定**：いくつかの予定を表示。
   - **終日イベントを表示する**：その日のすべてのイベントを表示。

Today画面にタスクを表示するためのオプション設定

仕事がたくさんある場合は、Today画面に表示する仕事の種類を指定することができます。

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **Today**をタップしてください。
2. **アイテム**タブをタップしてください。
3. **仕事**を選択し、**オプション**をタップしてください。
4. 次のいずれかの操作を行ってください。
   - **表示する仕事**から、Today画面に表示したい仕事の種類を選択してください。
   - **分類項目**リストから、特定のカテゴリーに割り当てた仕事だけを表示するか、すべての仕事を表示するかを選択してください。

スタートメニューのカスタマイズ

スタートメニューに表示するアイテムを選択することができます。

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **メニュー**をタップしてください。
2. スタートメニューに表示させたいアイテムを選択してください。アイテムは最大7個まで選択可能です。

メモ　ショートカットメニューに表示するフォルダやショートカットを作成することもできます。PCのActiveSyncで**エクスプローラ**をクリックしてください。Mobile Deviceウィンドウで**マイ Windows Mobile®デバイス** > **Windows** > **スタートメニュー**をダブルクリックして、表示したいフォルダやショートカットを作成してください。追加したアイテムは同期後に表示されます。

ハードウェアボタンの機能を変えるには

本機のハードウェアボタンには、すでにプログラムが割り当てられていますが、一部のボタンではカスタマイズすることができます。

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **ボタン**をタップしてください。
2. 別のプログラムやショートカットを割り当てたいボタンをタップしてください。ボタンを識別できるように、ボタンに割り当てられた元の機能を示す番号とアイコンが表示されています。
3. **プログラムの割り当て**で、割り当てたいプログラムやショートカットをタップしてください。
4. **OK**をタップしてください。

スクロール速度を調整するには

上下ナビゲーションコントロールボタン (上/下スクロール) を押したままにすると、リストアイテムがスクロールします。スクロール速度を調整するには、次の手順にしたがってください。

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **ボタン** > **上/下コントロール**タブをタップしてください。
2. 次のいずれかの操作を行ってください。
   - **ハイライト移動開始までの待ち時間：**
     スライダーを使ってスクロールが開始されるまでの時間を調整することができます。
   - **ハイライトの移動速度：**
     アイテムから次のアイテムへ移動するまでの時間を変更することができます。

本機のバージョン情報を確認するには

- **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **バージョン情報**をタップしてください。

メモ　本機のオペレーティングシステムのバージョン、プロセッサの種類やメモリの量など、重要な情報が表示されます。

電話の設定

着信パターンや着信トーン、電話番号を入力するときのキーパッドトーンなど、電話の設定をカスタマイズすることができます。

着信パターンを変更するには

着信を知らせる方法を変更することができます。たとえば、トーン、バイブレーション、または両方同時に使用することができます。

1. 電話画面で**メニュー** > **オプション** > **電話**タブをタップしてください。
2. **着信パターン**で使用したいパターンをタップしてください。

着信トーンを変更するには

1. 電話画面で**メニュー** > **オプション** > **電話**タブをタップしてください。
2. **着信音**リストで設定したい着信音をタップしてください。

メモ　着信トーンにユーザー自身の ***.wav**、***.mid**、***.mp3**、***.wma**ファイルを使用するには、PCのActiveSyncを使ってファイルを本機の/Windows/Ringsフォルダにコピーした後、着信音リストからサウンドを選択してください。

キーパッドトーンを変更するには

キーパッドで電話番号を入力するときのトーンを変更することができます。トーン (長) に設定すると、番号を押している間トーンが聞こえます。トーン (短) に設定すると、番号を押した瞬間に1秒程度のトーンが聞こえます。オフに設定するとトーンは聞こえません。

1. 電話のキーパッドで**メニュー** > **オプション** > **電話**タブをタップしてください。
2. **キーパッド**リストで使用したいキーパッド音をタップしてください。

イベントやアクションの通知方法を選択するには

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **音と通知**をタップしてください。
2. **サウンド**タブで、各種音の設定を選択してください。
3. **通知**タブの**イベント**でイベント名をタップし、使用する通知方式のチェックボックスを選択してください。バイブレーション、特殊サウンド、メッセージ、点滅ライトなど、いくつかのオプションの中から選択することができます。

メモ　サウンドやライトの点滅をオフに設定すると、バッテリーの消費を節約することができます。

デバイスの名前の設定

次の状況でデバイスを認識する際に使用されます。

- PCと同期を取るとき
- ネットワークに接続するとき
- バックアップから情報を復元するとき

注意
- 複数のデバイスから同一PCに同期させる場合は、それぞれのデバイスに異なる名前を付けてください。
- 同期を取ると本機の時計もPCの日時に合わせて更新されます。

デバイス名を変更するには

1. **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **バージョン情報**をタップしてください。
2. **デバイスID**タブをタップしてください。
3. 名前を入力してください。

注意　英文字で始まるデバイス名を指定してください。また、デバイス名にはAからZまでの文字と、0から9までの数字を使用することができますが、スペースは使用できません。単語を分けるには、下線を使用してください。

日付/時刻/言語/地域の設定

必要に応じて、日付、時刻、言語、地域の設定を行うことができます。

現在地の時刻と日付を設定するには

1. **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **時計とアラーム** > **時刻**タブをタップしてください。
2. 現在地を選択して、タイムゾーンを選択してください。

訪問先の時刻と日付を設定するには

特定のタイムゾーンにいる人をよく訪問したり、通信したりする場合は、そのタイムゾーンを訪問先として選択すると便利です。

訪問先を選択した後、訪問先のタイムゾーンに合わせて現在時刻が自動的に変更されます。

1. **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **時計とアラーム** > **時刻**タブをタップしてください。
2. **訪問先**をタップしてください。
3. タイムゾーンを選択してください。

アラームを設定するには

1. **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **時計とアラーム** > **アラーム**タブをタップしてください。
2. アラームアイコン ( ) をタップしてください。
3. アラームの種類を選択してください。(サウンドを鳴らすを選択する場合、アラームの種類を設定してください。また、必要に応じて、サウンドを繰り返すを選択してください。)
4. 時間をタップすると時計が表示されますの、アラームの時間を設定してください。
5. アラームを有効にする曜日をタップしてください。
6. <アイテムの詳細>をタップして、アラーム名を入力してください。

地域の設定を変更するには

1. **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **地域**をタップしてください。
2. **地域**タブで地域を選択してください。
3. 「5.6 リセット」の「ソフトリセット」を参照し、ソフトリセットしてください。

メモ　数字、通貨、日付、時刻の表示方法は、地域の設定で変更することができます。

画面の文字サイズを調整するには

1. **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **画面** > **文字サイズ**タブをタップしてください。
2. スライダーを使って文字のサイズを調整してください。

バッテリーの消費を抑えるには

- Today画面のタイトルバーで をタップしてください。**電源設定**画面の**詳細設定**タブで、スリープモードに入るタイミングを指定することができます。通常、3分に設定すると効率的にバッテリー消費を節約することかできます。
- 可能な限り、急速充電器を使って本機をコンセントに接続するようにしてください。特にmicro SD™カードを使用している場合や、モデムやその他の周辺機器を使用している場合は、急速充電器を使用するようにしてください。
- バックライトの設定を調整してください。

バックライトの明るさを調整するには

1. Today画面のタイトルバーで をタップしてください。
2. **電源**設定画面で、**メニュー**>**バックライト**を選択します。
3. **明る**さタブでスライダーを右に動かすとバックライトが明るくなり、左に動かすと暗くなります。

指定時間経過後にバックライトを消すには

1. Today画面のタイトルバーで をタップしてください。
2. 電源設定画面で、**メニュー**>**バックライト**を選択します。
3. **バッテリ**タブか、**外部電源**タブをタップしてください。
4. **バックライトを消すまでのアイドル時間**を選択し、ディレイ時間を指定します。

5.2 プログラムの追加と削除

プログラムを新しく追加される前に、そのプログラムが本機と互換性があるかどうかをご確認ください。

詳しくは、「5.1 カスタマイズ」の「オペレーティングシステムのバージョン番号を確認するには」および「本機の詳しい情報を見るには」を参照してください。

プログラムを追加するには

1. プログラムをPCにダウンロードしてください (またはプログラムが格納されているCDかディスクをPCのドライブに挿入してください)。
2. 本機をPCに接続してください。
3. 実行ファイルをダブルクリックしてください。
    - 実行ファイルがインストレーションウィザードである場合、画面の指示にしたがってください。PCにプログラムをインストールすると、このウイザードは、プログラムを本機に自動的に転送します。
    - インストレーションウィザードが起動しない場合は、ActiveSyncを使ってプログラムファイルを本機の「プログラムファイル」フォルダにコピーしてください。

プログラムを削除するには

ユーザーがインストールしたプログラムのみ削除できます。本機にあらかじめインストールされていたプログラムは削除できません。

1. **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **プログラムの削除**をタップしてください。
2. **データ記憶用メモリにあるプログラム**リストから削除したいプログラムを選択し、**削除**をタップしてください。
3. **はい**をタップしてください。

5.3 メモリの管理

プログラムが不安定になったり、プログラムメモリの残量が少なくなった場合は、プログラムを中止するなどしてください。

メモリの残量を確認するには

- **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **メモリ**をタップしてください。

メモ　メインタブには、プログラムメモリに対してファイルやデータ保存用に割り当てられたメモリ量と、使用可能なメモリ量に対するメモリの使用量が表示されます。

メモリカードのメモリ残量を確認するには

本機に挿入されたメモリカードで使用できるメモリの量を確認することができます。

1. **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **メモリ**をタップしてください。
2. **メモリ カード**タブをタップしてください。

メモ　すでに複数のメモリーカードを接続している場合、リストボックスをタップして、情報を確認したいメモリカードを選択してください。

メモリに関するご注意
本機のメモリは、各種ファイル、画像、メールを保存する「データ記憶用」とプログラムを実行するための「プログラム実行用」があります。なお、データ記憶用のメモリが減少すると以下の動作となりますので、「メモリの空きを確保するには」を参照いただき、データ記憶用メモリの空き容量を確保してください。

- データ保存用メモリが0.5MB以下になると
  警告のポップアップ画面が表示され、各種ファイルおよび画像の保存できなくなります。（電子メール・SMSメッセージの保存は可能です。）
- データ保存用メモリがいっぱいになると
  電子メールとSMSメッセージはプログラム実行用メモリに保存されます。ただし、受信トレイには表示されず、この状態で電源を切ると、これらのデータは完全に消去されますのでご注意ください。（データ記憶用メモリの空きが確保されると、自動的にデータ記憶用メモリへ移行され、受信トレイに表示されます。）
- データ保存用メモリとプログラム実行用メモリがいっぱいになると電子メールとSMSメッセージが受信できなくなります。（メールサーバで保管）

メモリの空きを確保するには
以下の方法によってメモリの空きを確保してください。

データ記憶用メモリの確保

- 電子メールの添付ファイルをメモリカードに移す。
- ファイルをメモリカードに移す。
  スタート > **プログラム** > **ファイル エクスプローラ**をタップしてください。ファイルをタップしたままにして、**切り取り**をタップしてください。メモリカードフォルダを参照して、**メニュー** > **編集** > 貼り付けをタップしてください。

- 不要なファイルを削除する。
  スタート > **プログラム** > **ファイル エクスプローラ**をタップしてください。ファイルをタップしたままにして、**削除**をタップしてください。
- 大きいファイルを削除する。
  最も大きいファイルを検索するには、**スタート** > **プログラム** > **検索**をタップしてください。種類リストで**64 KBより大きいファイル**をタップし、さらに**検索**をタップしてください。
- Internet Explorer Mobileでインターネット一時ファイルを削除し、履歴情報をクリアしてください。詳しくは、第6章「接続する」を参照してください。
- 本機をソフトリセットする。詳細は「5.6 ソフトリセット」 を参照してください。

プログラム実行用メモリの確保

- 使用していないプログラムを終了する。
- 使用しないプログラムを削除する。

プログラムを終了するには

プログラムは必要なメモリを空けるために自動的に終了しますが、手動で終了することもできます。

1. **スタート** > **設定** > **システム**タブ > **メモリ** > **実行中のプログラム**タブをタップしてください。
2. **実行中のプログラム**リストで終了したいプログラムをタップし、**終了**をタップしてください。

メモ　キーボード ショートカット**CTRL+Q**を使ってプログラムを終了することもできます。

5.4 ファイルのバックアップ

ファイルをPCにバックアップするにはActive syncを使いコピーまたは移動させることができます。また、本機のmicroSD™カードスロットにmicroSD™カードを挿入し、コピーすることもできます。

注意　本機とPCの両方で自動的に情報を更新するには、情報を同期してください。(「4.1 ActiveSyncの設定」を参照) ファイルのコピーと同期の差異については、PCでActiveSyncヘルプを参照してください。

microSD™カードにファイルをコピーするには

1. microSD™カードを本機のスロットに挿入してください。
2. **スタート > プログラム > ファイル エクスプローラ**をタップして、コピーしたいファイルを探してください。
3. コピーしたいファイルをタップしたままにして、**コピー**をタップしてください。
4. フォルダリスト (デフォルトでは「**My Documents**」となっています) をタップし、**メモリカード**をタップしてください。
5. コピー先のフォルダ画面で、**メニュー > 編集 > 貼り付け**をタップしてください。

本機とPCの間でファイルをコピーする

1. 本機とPCを付属のUSBケーブルでつなぎます。
2. ActiveSyncで**エクスプローラ**をクリックすると、本機の「モバイルデバイス」フォルダが開きます。
3. 本機からPCへファイルをコピーするには：
   - 「モバイルデバイス」フォルダでコピーしたいファイルを探してください。
   - ファイルを右クリックして、**コピー**をクリックしてください。
   - PCでコピー先となるフォルダを探してください。フォルダを右クリックして、**貼り付け**をクリックしてください。
4. PCから本機にファイルをコピーするには：
   - PC上でコピーしたいファイルが保存されているフォルダを探してください。
   - ファイルを右クリックして、**コピー**をクリックしてください。

- モバイルデバイスで任意のフォルダを右クリックし、**貼り付け**を選択してください。

ファイルの保存先をmicroSD™に指定するには

Word Mobile、Excel Mobile、メモプログラムで作業をするときには、新規文書、ブック、メモを優先的にmicroSD™に保存することができます。

1. 各プログラムのファイルリストから、**メニュー** > **オプション**をタップしてください。
2. 本機にmicroSD™が挿入されているのを確認してください。保存先で「メモリカード」を選択し、**OK**をタップすると**microSD™**カードに保存されます。

注意　ファイルやメモリストでは、ファイル名の横にmicroSD™記号が表示されます。

5.5 セキュリティ設定

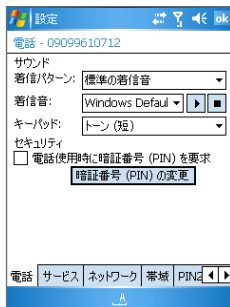
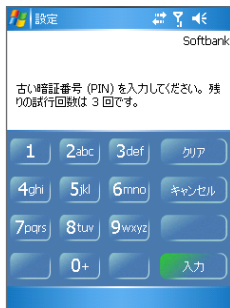
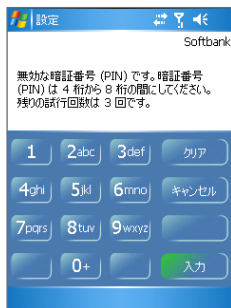
本機で設定できるセキュリティは以下のとおりです。

- USIMカードに対してPIN1コードを設定し、USIMカードを本機に取り付けて電源を入れたときには、PIN 1コードを入力しないと本機を使用できないようにします。
- 本機に対してパスワードを設定し、電源を入れたときには、パスワードを入力しないと本機を使用できないようにします。

暗証番号（PIN1）によりUSIMカードを保護するには

1. 電話画面で**メニュー** > **オプション** > **電話**タブをタップしてください。
2. **電話使用時に暗証番号（PIN）を要求**をタップしてください。
3. 暗証番号（**PIN**）を入力してください。

暗証番号（PIN）を変更するには

暗証番号（PIN）を変更するには、先に前ページの「暗証番号（PIN1）によりUSIMカードを保護するには」の操作を行なってください。

1. 暗証番号（PIN）の変更をタップしてください。
2. 古い暗証番号（PIN）を入力してください。
3. 新しい暗証番号（PIN）を入力してください。
4. 確認のためもう一度新しい暗証番号（PIN）を入力してください。

注意 間違った暗証番号 (PIN) を入力しても、3回までやり直すことができます。

メモ 暗証番号 (PIN1) の詳細については、「1.3 USIMカードのお取扱い」の「暗証番号 (PINコード) 」を参照してください。

パスワードにより本機を保護するには

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **ロック**をタップしてください。
2. **パスワード入力が必要になるまでの時間**をチェックし、時間を選択してください。パスワードの種類欄で使用したいパスワードの種類を選択し、パスワード（確認用のパスワードも含む）を入力してください。
3. **OK**をタップすると、パスワード保護が有効になります。本機を操作せずにそのまま放置し、手順2で指定した時間が経過すると、パスワード入力を要求する画面が表示されます

注意
- パスワードを1回間違えるたびに、本機の応答時間が長くなり、最後にはまったく反応しなくなります。

メモ
- 本機がパスワードにより保護されている場合、パスワード入力までの設定時間にかかわらず、電源を入れるたびにパスワード入力が必要となります。
- スリープモードが設定されている場合、スリープモードから復帰する際、またはパスワード入力までの設定時間が経過すると、パスワード入力を要求する画面が表示されます。

パスワードを変更するには

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **ロック**をタップしてください。現在のパスワードを入力するよう要求されます。
2. **パスワード**欄に新しいパスワードを入力してください。
3. **OK**をタップしてください。

メモ　ヒントタブで、他の人には考えつかないようなパスワードを覚えておくためのフレーズを入力してください。
パスワードを4回間違って入力すると、ヒントが表示されます。

オーナー情報を設定するには

オーナー情報やメモを入力できます。また、オプションタブでオーナー情報やメモをチェックすると、電源を入れたときにマイインフォとして表示されます。

1. **スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **オーナー情報**をタップしてください。
2. オーナー情報で必要な項目を入力し、**OK**をタップしてください。
3. メモを入力するには、**メモ**タブをタップしてテキストを入力して**OK**をタップしてください。
4. 必要に応じて**オプション**タブで電源を入れたときに表示される項目をチェックして**OK**をタップしてください。

メモ　Today画面にオーナー情報を表示するには、**スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **Today**をタップしてください。**アイテム**タブで**オーナー情報**を選択してください。

5.6 リセット

ソフトリセット

本機をソフトリセットすると、プログラムがすべてシャットダウンします。この方法は、本機の動作が不安定であったり、プログラムが正常に動作しないときに有効です。またいくつかのプログラムをインストールした後もソフトリセットを行う必要があります。

ソフトリセットを行うには

スタイラスを使って本機底面にあるリセットボタンをゆっくりと押してください。本機が再起動し、Today画面が表示されます。

リセットボタン

注意　プログラムを起動しているときにソフトリセットを実行すると、保存されていない編集中のデータは失われます。

ハードリセット

ハードリセットはソフトリセットではシステムの問題を解決できないときに限って実行してください。

ハードリセットを行うには

左ソフトキーと右ソフトキーを同時に押したまま、スタイラスを使って本機底部にあるリセットボタンを押してください。

左ソフトキー
右ソフトキー

注意 ハードウエアキーボード上のソフトキーではハードリセットは実行できません。

ハードリセット操作を行うと、本機内部のすべてのデータが失われることを警告するメッセージが表示されます。

Do you want to erase all user data and restore to manufacture default?

YES = QWERTY <R> KEY

NO = QWERTY <X> KEY

本機内部のすべてのデータを消去するには、スライドしてキーボードを引き出し、**R**キーを押してください。

消去しない場合は、キーボードの**X**キーを押します。これにより、ハードリセットはキャンセルされます。

警告 ハードリセットを行うと、本機はデフォルト設定 (工場出荷時の状態) に戻されます。この場合、本機にインストールしたプログラム、入力したデータ、カスタマイズした設定はすべて失われます。Windows Mobile®ソフトウェアとあらかじめ本機にインストールされていたプログラムしか残りません。(必ずインストールしたプログラムやデータがバックアップされていることを確認してください。)

第6章

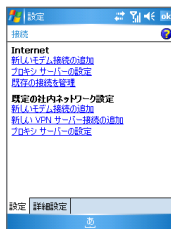
接続する

6.1 インターネットへの接続

本機はワイヤレスLANや携帯電話ネットワークを介してインターネットに接続します。

ワイヤレスLANのエリア外で使用できない場合は、パケット通信によりインターネットや社内ネットワークに接続することができます。接続設定グループは、**インターネットの設定と社内ネットワークの設定**の2つがあります。インターネット設定はインターネットに接続するときに使用し、社内ネットワーク設定はプライベートネットワークや社内ネットワークに接続するときに使用します。

インターネットの設定

本機はご購入時の設定で、3Gネットワークを利用してインターネットに接続することができます。通常は設定の変更は必要ありません。設定を変更すると、3Gネットワークからインターネットに接続できなくなる場合がありますのでご注意ください。

社内ネットワークへの接続

社内ネットワークの設定には以下の接続に関する項目があります。

- **新しいモデム接続の追加**：社内ネットワークへの接続設定
- **新しいVPNサーバー接続の追加**：VPNサーバーへの接続設定
- **プロキシ サーバーの設定**：プロキシサーバーの設定

ネットワーク管理者からサーバの電話番号、ユーザー名、パスワード、ドメイン (IPアドレス) をあらかじめ取得し、以下の手順で接続してください。

1. **スタート** > **設定** > **接続**タブ > **接続**をタップしてください。
2. 既定の**社内ネットワーク設定**で利用する接続方法を選択し、手順に従って入力してください。
3. 接続ウィザードを完了して、**完了**をタップしてください。

新しいネットワークの作成

詳細設定タブでは新しいネットワークを作成することができます。

1. **スタート** > **設定** > **接続**タブ > **接続** > **詳細設定**タブをタップしてください。
2. **ネットワークの選択**をタップしてください。
3. ネットワークの管理画面が表示されますので、**追加**をタップしてください。
4. 表示された**全般**タブで名称を入力して**OK**をタップし、さらに**OK**をタップしてください。
5. 接続画面の**設定**タブをクリックすると、入力したネットワークの名称が変わります。

ネットワークカードを設定する

自宅や会社のLANに直接接続することができます。接続が完了したら、本機でインターネットやイントラネットを閲覧したり、電子メールをダウンロードしたりすることができます。

1. **スタート** > **設定** > **接続**タブ > **ネットワーク カード**をタップしてください。
2. サーバー情報を入力するには、**ネットワーク アダプタタブ** > **アダプタをタップして設定を変更します**リストで適切なネットワークアダプタをタップし、次に**ネームサーバータブ**をタップしてください。ほとんどのネットワークはDHCPダイナミックIPアドレスを使用しますので、特に指示があった場合を除き、これらの設定を変更する必要はありません。

注意 勤務先では社内ネットワーク、自宅ではインターネットなど、ネットワークを使い分けるには、**スタート** > **設定** > **接続**タブ > **ネットワークカード**をタップし、**ネットワークカードの接続先**を切り替えてください。

6.2 Internet Explorer Mobile

Internet Explorer Mobileを使って、ホームページの閲覧が可能です。

Internet Explorer Mobileを起動するには

- **スタート** > **Internet Explorer**をタップするか、Internet Explorerボタン（ ）を押してください。

ホームページを設定するには

1. Internet Explorer Mobile画面の一番のアドレスバーに、URLを入力してください。 をタップするとWebページが開きます。
2. **メニュー** > **ツール** > **オプション** > **全般**タブをタップしてください。
3. 次のいずれかの操作を行ってください。
   - **現在のページを使用**：
     表示しているページをホームページとして設定。
   - **既定のページを使用**：
     デフォルトのホームページを使用。

メモ　ホームページを表示する場合には、**メニュー** > **ホーム**をタップしてください。

PCからお気に入りを転送するには

PCと本機を同期させることによって、PCに保存したお気に入りリストを本機に転送することができます。

1. PCのActiveSyncを使って、**ツール**メニューで**オプション**をクリックし、**お気に入り**を選択してください。
2. PCのInternet Explorerで**お気に入り** > **お気に入りに追加**をクリックし、お気に入りのリンクをお気に入りリストの「モバイルのお気に入り」サブフォルダに保存または移動させてください。
3. 本機をPCに接続してください。同期が自動的に開始されない場合は、**同期**をクリックしてください。

お気に入りを追加するには

1. Internet Explorer Mobileで**メニュー** > **お気に入り** > **追加/削除** > **追加**をタップしてください。
2. お気に入りの追加の画面が表示されます。名前、アドレス (URL) およびフォルダ名を確認してください。
3. 上記確認後、追加をタップしてください。

お気に入りやフォルダを削除するには

1. Internet Explorer Mobileで**メニュー** > **お気に入り** > **追加/削除**タブをタップしてください。
2. 削除したいアイテムを選択し、**削除**をタップしてください。

メモ　デフォルトのお気に入りも削除することができます。ハードリセットを実行すると、デフォルトのお気に入りは元に戻ります。

Webページの文字サイズを変更するには

- Internet Explorer Mobileで**メニュー** > **ズーム**をタップし、サイズを選択してください。

Webページの表示方法を変更するには

1. Internet Explorer Mobileで**メニュー** > **表示**をタップしてください。
2. 次のいずれかをタップしてください。
   - **一列に表示する**　画面の大きさに合わせて、コンテンツを全て一列に表示します。
   - **画面に合わせる**　画面の大きさに合わせて、コンテンツをPCのレイアウト方式で表示します。
   - **表示調整しない**　PCでのレイアウトと大きさをそのまま表示します。したがって、上下にスクロールする必要があります。

履歴をクリアするには

1. Internet Explorer Mobileで**メニュー** > **ツール** > **オプション** > **メモリ**タブをタップしてください。
2. **履歴のクリア**をタップしてください。
3. 定期的に履歴をクリアする場合は、左の欄で日数を設定します。

Webページから静止画を保存するには

1. Internet Explorer Mobileで静止画をタップしたままにして、**イメージの保存**をタップしてください。
2. 次のいずれかの操作を行ってください。
   - 静止画を本機の**マイ ピクチャ**に保存する場合は、**はい**をタップしてください。
   - メモリカードなど、別の場所に保存するには、**名前を付けて保存**をタップしてください。

インターネット一時ファイルを削除するには

削除することによってメモリスペースを確保することができます。

1. Internet Explorer Mobileで**メニュー** > **ツール** > **オプション** > **メモリ**タブをタップしてください。
2. **ファイルを削除**をタップしてください。オフラインのお気に入りコンテンツを含め、本機に保存されているすべてのファイルを削除してください。

インターネット セキュリティを設定するには

必要に応じてセキュリティ設定を変更することができます。

1. Internet Explorer Mobileで**メニュー** > **ツール** > **オプション** > **セキュリティ**タブをタップしてください。
2. 本機の安全性をより高めるには、**Cookieを許可する**の選択を解除してください。Internet Explorer MobileにCookieを受信させないためには、**Cookieを許可する**の選択を解除してください。
3. 必要に応じてその他のセキュリティ設定を選択し、**OK**をタップしてください。

6.3 コミュニケーションマネージャ

コミュニケーションマネージャでは電話機能やデータ通信機能等を有効または無効にすることができます。

コミュニケーションマネージャを開くには

- Today画面で、右下にある**コミュニケーションマネージャ**アイコン（ ）をタップしてください。
- コミュニケーションマネージャボタンを押してください。

1 電話機能を有効/無効にします。

2 ワイヤレスLAN機能を有効/無効にします。本機でワイヤレスLAN機能を設定するには、「6.5 ワイヤレスLANの使い方」を参照してください。

3 データサービス (3Gパケット通信など) を切断 (無効) します。コミュニケーションマネージャからデータサービスに再接続 (有効) することはできません。

4 本機とコンピュータの間で同期を取るためにActiveSyncを起動します。ActiveSyncの設定については、「4.1 ActiveSyncの設定」を参照してください。

5 Bluetooth® 機能を有効/無効にします。本機でBluetooth® 機能を設定するには、「6.4 Bluetooth® の使い方」を参照してください。

6 Outlookメールの自動受信と、手動取得を切り替えます。詳細は、「4.2 情報の同期」の「Exchange Serverとの予約同期」を参照してください。

7 マナーモードを有効/無効にします。

6.4 Bluetooth® の使い方

Bluetooth® とは10メートル以内にあるX01HT同士や他のBluetooth® 対応機器 (PCや携帯電話、ハンズフリー機器など) をワイヤレス接続するための方式です。

Bluetooth® モード

Bluetooth® にはオン、オフ、検出可能の3つのモードがあります。

1. **スタート** > **設定** > **接続**タブ > **Bluetooth**タブをタップしてください。
2. **Bluetoothをオン**にするをチェックすると、周囲のBluetoothを検出することができます。
3. **このデバイスをほかのデバイスからも検索できるようにする**をチェックすると、周りのBluetoothデバイスが本機を検出できるようになります。

メモ
- Bluetooth® をオンにした後本機の電源をオフにすると、Bluetooth® もオフになります。再び本機をオンにすると、Bluetooth® も自動的にオンになります。
- 相手のBluetooth® デバイスには、本機デフォルトのデバイス名 (X01HT) が表示されます。**スタート** > **設定** > **個人用**タブ > **オーナー情報**の名前を設定すると、この名前が優先的に相手に表示されます。

Bluetooth® パートナーシップ

本機と別のBluetooth® デバイスとの間で安全に情報を交換できるようにします。2台のデバイスの間でパートナーシップを確立するには、両方のデバイスで同じパスキーを入力する必要があります。

一度パートナーシップを確立すると、次回からこの操作を行う必要はありません。

メモ　2台のデバイスがそれぞれ10メートル以内にあることを確認してください。

Bluetooth® パートナーシップを確立するには

1. **スタート** > **設定** > **接続**タブ > **Bluetooth**をタップしてください。
2. **デバイス**タブで**新しいパートナーシップ**をタップすると、周囲のBluetooth® デバイスが検出され、リストが表示されます。
3. パートナーシップを確立する相手デバイスを選択し、**次へ**をタップしてください。
4. 接続の安全性を高めるため、1文字から16文字のパスキーを設定することができます。パスキーを入力し、**次へ**をタップしてください。
5. パートナーシップが確立すると、相手デバイスの名前が表示されます。相手デバイスの名前をタップすると、表示名を変更することができます。
6. 相手デバイスから使用したいサービスを選択してください。
7. **完了**をタップしてください。

Bluetooth® パートナーシップを受け入れるには

1. 「6.4 Bluetooth®の使い方」の「Bluetooth® モード」を参照し、本機を他のデバイスからも検出できるようにしてください。
2. **はい**をタップしてください。
3. 相手デバイスがパスキーを設定した場合、同じパスキーを入力し、**次へ**をタップしてください。
4. **完了**をタップしてください。

メモ　相手デバイスがパスキーを設定していない場合は、自動的にパートナーシップが確立され、接続要求のポップアップは表示されません。

Bluetooth® パートナーシップを削除するには

1. **スタート** > **設定** > **接続**タブ > **Bluetooth**をタップしてください。
2. **デバイス**タブでパートナーシップをタップしたままにしてください。
3. **削除**をタップし、**はい**をタップしてください。

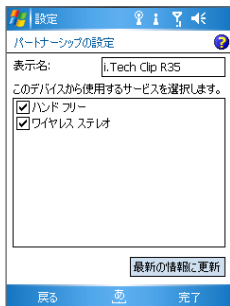
Bluetooth® ハンズフリーヘッドセットの接続

Bluetooth® デバイスに接続する場合と同じ様に、Bluetooth® ハンズフリーヘッドセットに接続する際にもパスキーを入力する必要があります。なお、パスキーはBluetooth® ヘッドセットに組み込まれているため、接続する前にBluetooth® ヘッドセットの説明書などでご確認ください。

Bluetooth® ハンズフリー ヘッドセットを接続するには

1. 本機とBluetooth® ヘッドセットの両方の電源がオンになっているかどうか、電波受信範囲内にあるかどうかをご確認ください。また、ヘッドセットが検出可能に設定されているかどうかもご確認ください。ヘッドセットの設定については、メーカーの説明書を参照してください。
2. **スタート** > **設定** > **接続**タブをタップしてください。
3. **Bluetooth** > **デバイス**タブ > **新しいパートナーシップ**をタップしてください。本機が他のBluetooth® デバイスを検出すると、リストアップします。
4. Bluetooth® ヘッドセットの名前をタップし、**次へ**をタップしてください。

5. Bluetooth® ヘッドセットのパスキーを入力し、**次へ**をタップしてください。

6. ハンドフリーサービスを選択し、**完了**をタップしてください。

Bluetooth® によるデータ通信

連絡先、予定表、仕事などのデータやファイルをPCや他のBluetooth® デバイスに転送することができます。

注意　Bluetooth® 機能がサポートされていないPCの場合は、Bluetooth® アダプタが必要です。

本機とPC間で通信するには

1. 「6.4 Bluetooth®の使い方」の「Bluetooth® モード」を参照し、本機をほかのデバイスからも検出できるようにしてください。
2. 次のいずれかの方法で、PCのBluetooth® を有効にしてください。
   - Windows XP SP2がインストールされているBluetooth® アダプタ (内蔵または外部) 搭載のPCでは、コントロールパネルから**Bluetoothデバイス**を開いてください。**オプション**タブをクリックし、**発見機能を有効にする**と**Bluetoothデバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する**をチェックしてください。
   - 市販のドライバを使ってPCにBluetooth® アダプタをインストールした場合は、Bluetooth® アダプタ付属のBluetooth® ソフトウェアを起動してください。ソフトウェアはメーカーによって異なりますが、ほとんどの場合はコントロールパネルよりBluetooth® 設定を開くことができます。
3. 本機とPCとの間でBluetooth® パートナーシップを確立してください。パートナーシップの確立については、「6.4 Bluetooth®の使い方」の「Bluetooth® パートナーシップ」を参照してください。
4. **ファイルをビームする** (または**連絡先のビーム**、**予定をビームする**) をタップしてください。

   データを転送する相手デバイスを選択すると、転送を開始します。
5. 転送したOutlookアイテムがPCのOutlookに反映されない場合は、Outlookで**ファイル** > **インポートとエクスポート**を選択してアイテムをインポートしてください。

メモ　他のPocket PCなど、Bluetooth® 対応デバイスにデータを転送するには、上記の手順3以降にしたがってください。

別のBluetooth® 電話をモデムとして使う

Bluetooth® 機能を搭載した別の電話をモデムとして使用し、インターネットに接続したり、情報を転送したりすることができます。

Bluetooth® 電話をモデムとして使用するには

1. **スタート** > **設定** > **接続**タブ > **接続**をタップしてください。
2. **新しいモデム接続の追加**をタップしてください。
3. 接続名を入力してください。
4. **モデムの選択**リストで**Bluetooth**をタップしてください。
5. **次へ**をタップしてください。
6. **接続**リストに電話が表示されます。モデムとして使用する電話を選択し、**次へ**をタップしてください。
7. この接続でダイヤルする電話番号を入力し、**次へ**をタップしてください。
8. 接続に必要なログオン情報を入力し、**完了**をタップしてください。

メモ　手順6で**接続**リストに電話が表示されない場合は、**新しいパートナーシップ**をタップし、パートナーシップを確立してください。詳しくは「6.4 Bluetooth®の使い方」の「Bluetooth® パートナーシップ」を参照してください。

6.5 ワイヤレスLANの使い方

ワイヤレスLANを使用し、インターネットにアクセスすることができます。本機でワイヤレスLANを使用するには、アクセスポイントに接続する必要があります。

注意　　ワイヤレスLANの電波は、環境によって弱くなる場合があります。

ワイヤレスLANネットワークへの接続方法

1. コミュニケーションマネージャを開いてください。
2. **ワイヤレスLAN**ボタンをタップしてください。

   : ワイヤレスLANオン

   : ワイヤレスLANオフ
3. ワイヤレスLANがオンになると、エリア内で使用可能なワイヤレスネットワークの検出を開始します。検出されたワイヤレスLANのいずれかを選択し、**OK**をタップしてください。

複数のネットワークが検出されました

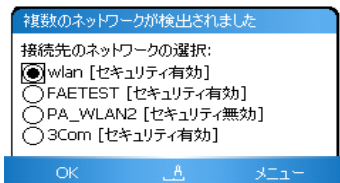
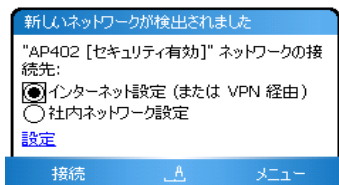
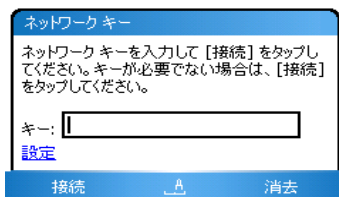
接続先のネットワークの選択:

wlan [セキュリティ有効]

FAETEST [セキュリティ有効]

PA_WLAN2 [セキュリティ無効]

3Com [セキュリティ有効]

OK　　メニュー

4. インターネットに接続する場合は、**インターネット設定**をタップし、社内ネットワークに接続する場合は、**社内ネットワーク設定**をタップしてください。

5. ワイヤレスLANが保護されている場合は、ネットワークキーを入力し、**接続**をタップしてください。

メモ　1度接続したネットワークの設定は保存されます。2回目以降はネットワークキーの入力は必要ありません。

ワイヤレス LAN の状態を確認するには

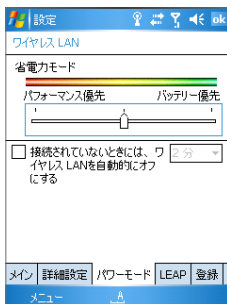
ワイヤレスLANの接続状態は、次のいずれかの方法で確認できます。

- コミュニケーションマネージャを開き、**設定** > **ワイヤレス LANの設定**をタップしてください。

  メインタブに現在接続しているネットワーク名、設定、電波状態などが表示されます。

- タイトルバーのワイヤレス信号アイコンでネットワーク状態を確認できます。ネットワーク検出中はアイコン ( ) の矢印が前後に動きます。
- **スタート** > **設定** > **接続**タブ > **ネットワークカード** > **ワイヤレス**タブをタップすると、利用可能なネットワークが表示されます。

ワイヤレスLANネットワーク接続時の省電力

1. **スタート** > **設定** > **接続**タブ > **ワイヤレス LAN**をタップして、ワイヤレスLAN設定画面を開いてください。
2. ワイヤレスLAN画面の**パワーモード**タブで、**省電力モード**スライダーを使って最小の電力消費量で最適に作動するように調整してください。

その他の設定

- **詳細設定**タブには、接続したアクセスポイントやほかのデバイスに関する情報が表示されます。
- **LEAP**タブでは、Cisco社のLEAPサーバーを使用している場合に設定を行います。
- **登録**タブでは、セキュリティー設定時にユーザー名やパスワード、サーバー名などを登録したり、証明書を取得することができます。

第7章

メッセージの交換とOutlookの使い方

7.1 電子メールとSMSメッセージ

Outlookメールやインターネットメールを送受信したり、携帯電話ネットワークを使用してSMSメッセージを送受信したりすることができます。VPN接続を利用すると、会社から電子メールにアクセスすることができます。

メモ　電子メールとSMSメッセージに関する詳しい説明は、本機のヘルプに記載されています。Outlookの画面で**スタート> ヘルプ**をクリックしてご覧ください。

メッセージの送受信

メッセージを送信するには

1. **スタート ＞ Outlook ＞ メニュー ＞ 移動**をタップし、アカウント種別を選択してください。
2. **新規**をタップしてください。
3. 相手のメールアドレスを入力してください。複数の相手に送る場合は、セミコロンで区切ってください。連絡先のアドレスや電話番号を使用するには、**宛先**をタップしてください。
4. メッセージを入力してください。
5. **送信**をタップしてください。

メモ
- 記号を入力するには、オンスクリーン キーボードで (記号) をタップしてください。
- メッセージの優先度を指定するには、メニュー ＞ メッセージのオプションをタップし、低，標準，高の中から選択してください。
- オフラインで作業をしているときには、電子メールは「送信トレイ」フォルダに移動します。
- 頻繁に使用するフレーズをすばやく挿入するには、メッセージ入力画面で**メニュー ＞ マイ テキスト**をタップして、リストからフレーズを選択してください。
- 送信したSMSメッセージが相手に受信されたことを確認するには、新規SMSメッセージ作成画面でメニュー ＞ メッセージのオプションをタップし、メッセージの配信通知を要求するにチェックを入れてください。すべてのSMSメッセージに対して配信通知を要求するには、SMSメッセージ画面で、**メニュー ＞ ツール ＞ オプション**の**アカウント**タブで**SMSメッセージ**をタップし、**配信通知を要求する**を選択してください。

- 本機はSMSメッセージの絵文字には対応していないため、入力は出来ません。また、受信したSMSメッセージに絵文字が含まれていた場合、「・」で表示されます。
- 件名が全角19文字以上のメールを受信すると、件名が正しく表示されません。

返信または転送するには

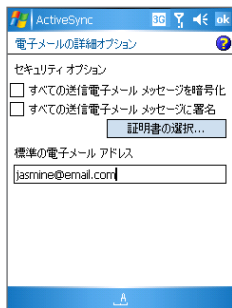
1. メッセージを開き、**返信**をタップするか、**メニュー** > **全員へ返信**、または**メニュー** > **転送**をタップしてください。
2. 返信メッセージを入力してください。
3. メールアドレスの確認は**メニュー** > **宛先の確認**をタップしてください。
4. **送信**をタップしてください。

メモ　オリジナルメッセージを引用するには、メッセージの一覧画面から**メニュー** > **ツール** > **オプション** > **メッセージ**をタップし、**電子メールに返信するときに、本文を含める**をチェックしてください。

全員に返信するとき自分の電子メールアドレスを除くには

電子メール受信者全員に返信すると、自分のメールアドレスも受信者リストに加えられます。受信者リストから自分のメールアドレスを除くには、ActiveSyncをカスタマイズしてください。

1. 本機のActiveSyncで**メニュー** > **オプション**をタップしてください。
2. 同期するデータから**電子メール**を選択し、**設定**をタップしてください。
3. **詳細設定**をタップしてください。
4. **標準の電子メール アドレス**で自分のメールアドレスを入力してください。

ActiveSync
電子メールの詳細オプション
セキュリティ オプション
すべての送信電子メール メッセージを暗号化
すべての送信電子メール メッセージに署名
証明書の選択...
標準の電子メール アドレス
jasmine@email.com

5. **OK**をタップしてください。

メールにファイルを添付するには

1. 新規メッセージ作成画面で**メニュー > 挿入**をタップし、添付したいアイテム (**静止画、ボイス メモ、ファイル**) をタップしてください。
2. 添付したいファイルを選択するか、ボイスメモを録音してください。

メモ　SMSメッセージはファイルを添付できません。

添付ファイルを受信するには

電子メールに添付されたファイルや、サーバーからダウンロードしたファイルは、件名の下に表示されます。Exchange Serverにメールアカウントがある場合は、メッセージと一緒に添付ファイルも自動的にダウンロードすることができます。

Outlookメールアカウントをお持ちの場合、次の手順にしたがってください。

1. **スタート > プログラム > ActiveSync**をタップしてください。
2. **メニュー > オプション**をタップしてください。
3. **電子メール > 設定**をタップし、**添付ファイルを含める**を選択してください。

メモ　電子メールの件名の下のファイルが開けない場合は、空ファイルをタップして次回送受信するときにダウンロードすることができます。

インターネット サービス プロバイダ (ISP) からIMAP4メールアカウントを取得したり、VPNサーバー接続 (通常は会社のアカウント) を使ってアクセスできるメールアカウントがある場合は、次の手順にしたがってください。

1. **スタート** > **Outlook**をタップしてください。
2. **メニュー** > **ツール** > **オプション**をタップしてください。
3. IMAP4アカウントの名前をタップしてください。
4. **サーバー情報**が見つかるまで**次へ**をタップし、**オプション**をタップしてください。
5. **次へ**を2回タップして、**メッセージの全文を取得する**と**全文をコピーするときに添付ファイルを取得する**を選択してください。

メモ　添付ファイルを本機ではなくメモリカードに保存するには、**メニュー** > **ツール** > **オプション** > **保存場所**タブをタップし、**メモリ カードに添付ファイルを保存する**を選択してください。

メッセージのダウンロード

メッセージをダウンロードする方法は、使用するメッセージ種別によって異なります。

- Outlookメールアカウントで受信するには、ActiveSyncを使って同期を開始してください。 詳しくは、「4.2 情報の同期」を参照してください。
- インターネット サービス プロバイダ (ISP) から取得したり、VPN サーバー接続 (通常は会社のアカウント) を使ってアクセスするメールアカウントで電子メールを受信するには、リモートメールサーバーからメッセージをダウンロードしてください。詳細は、「7.1 電子メールとSMSメッセージ」の「サーバーからメッセージをダウンロードするには」を参照してください。
- 電話機能がオンになっているときには、SMSメッセージは自動的に受信されます。電話機能がオフ (フライトモード時など) になっているときには、メッセージは電話機能がオンにするまでサーバーに保管されます。

サーバーからメッセージをダウンロードするには

インターネット サービス プロバイダ (ISP) やVPNサーバー接続 (通常は会社のアカウント) を使ってアクセスするメールアカウントで電子メールを受信するには、インターネットあるいは会社のネットワーク (メッセージ種別の種類によります) に接続する必要があります。

1. **メニュー** > **移動**をタップして、使用したいメッセージ種別をタップしてください。
2. **メニュー** > **送受信**をタップしてください。本機と電子メールサーバーのメッセージが同期されます。新しいメッセージは「受信トレイ」フォルダにダウンロードされます。サーバーから削除されたメッセージは「受信トレイ」フォルダからも削除されます。

メモ
- メッセージ全件を受信するには、メッセージウィンドウで**メニュー** > **メッセージのダウンロード**をタップしてください。
- メールアカウントを設定するときに、添付ファイルもダウンロードするよう設定すると添付ファイルを自動的にダウンロードします。

POP3/IMAP4 電子メールアカウントの設定

メールの送受信を実行する前に、インターネットサービス プロバイダ (ISP) や、VPNサーバー接続 (通常は会社のアカウント) を使ってアクセスするアカウントを設定する必要があります。

1. **スタート** > **Outlook**をタップしてください。
2. **メニュー** > **ツール** > **新しいアカウント**をタップしてください。
3. 電子メールアドレスを入力し､**次へ**をタップしてください。**自動構成**が完了します。
4. **自動構成**が完了したら、**次へ**をタップしてください。
5. 名前 (送信メールに表示したい名前)、ユーザー名、パスワードを入力して、**次へ**をタップしてください。
6. アカウント情報 (POP3かIMAP4) を選択して、**次へ**をタップしてください。

   次回パスワード入力を省略するには、**パスワードの保存**を選択してください。
7. サーバー情報を入力して、**完了**をタップしてください。

自動構成が完了すると、**名前**と**ユーザー名**が自動的に記入されます。**次へ**をタップし、**完了**をタップしてアカウントの設定を完了してください。または**サーバー情報**から**オプション**をタップすると、以下の追加設定を行うことができます。

- 新しいメッセージをダウンロードする間隔を変更できます。
- ダウンロードするメッセージのサイズを制限したり、送信メールの認証方法を変更できます。
- メッセージの全文または一部をダウンロードできます。

電子メールの手動設定

自動構成が失敗した場合や、VPNサーバー接続を使ってアクセスするメールアカウントがある場合は、インターネットサービス プロバイダかネットワーク管理者から次の情報を取得し、Outlook画面の**メニュー > 新しいアカウント**から手動で入力してください。

設定	説明
ユーザー名	インターネットサービス プロバイダまたはネットワーク管理者から提供されたユーザー名を入力してください。
パスワード	パスワードを入力してください。パスワードを保存すると次回からパスワード入力を省くことができます。
ドメイン	インターネットサービス プロバイダから取得したアカウントをご利用の場合は必要ありません。システム構成によっては必要な場合があります。
アカウントの種類	POP3またはIMAP4を選択してください。
アカウント名	アカウントの名を入力してください。設定後、アカウント名を変更することはできません。
受信メールサーバー	受信メールサーバーの名 (POP3またはIMAP4) を入力してください。
送信メールサーバー	送信メールサーバーの名 (SMTP) を入力してください 。
SSL接続を使用する	SSL接続で電子メールを受信したい場合に選択してください。(情報をより安全に受信することができます) インターネットサービスプロバイダーがSSL接続に対応していない場合、設定は無効です。
送信メールに認証を必要とする	送信メールサーバー (SMTP) が認証を必要とする場合に選択してください。上記のユーザー名とパスワードが使用されます。

設定	説明
別の設定を使用する	送信メールサーバーが以前に入力したものとは異なるユーザー名とパスワードを必要とする場合に選択してください。

送信メールサーバが認証を必要としており、受信メールサーバーとは異なるアカウント名やパスワードを使用する場合は、次の情報が必要となります。

設定	説明
ユーザー名	メールサーバーのユーザー名を入力してください。
パスワード	メールサーバーのパスワードを入力してください。
ドメイン	メールサーバーのドメインを入力してください。
送信メールにSSLを必要とする	SSL接続で電子メールを送信したい場合に、選択してください。(情報をより安全に送信することができます) インターネットサービスプロバイダーがSSL接続に対応していない場合、設定は無効です。

メモ　Outlookメールアカウント以外にも、他のメールアカウントを設定することができます。

メッセージに署名して暗号化する

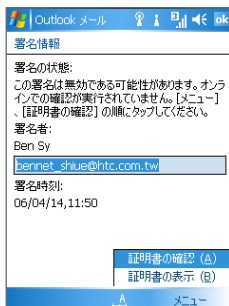
Outlookメールで暗号化およびデジタル署名を利用するとセキュリティレベルを高めることができます。

メッセージに個々に署名して暗号化するには

1. メッセージリストで、**メニュー** > **移動** > **Outlookメール**をタップしてください。
2. **新規**をタップしてください。
3. **メニュー** > **メッセージのオプション**をタップしてください。
4. **メッセージを暗号化する**と**メッセージに署名する**を選択し、**OK**をタップしてください。

メモ
- メッセージの暗号化や署名を設定するには、Exchange Serverに接続する必要があります。
- すべてのメッセージに署名して暗号化するには、「7.2 電子メールセキュリティの設定」の「すべてのメッセージにデジタル署名を付けて暗号化する」を参照してください。

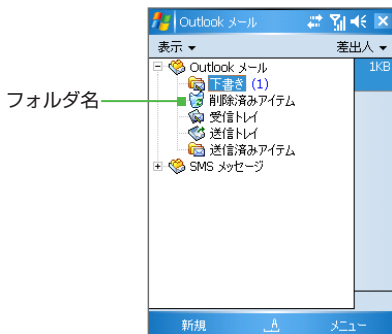
受信したメッセージのデジタル署名を確認する

1. デジタル署名されたOutlookメールを開いてください。
2. メッセージの一番上にある**署名の状態の表示**をタップしてください。
3. **メニュー > 証明書の確認**をタップしてください。

メッセージの証明書の詳細を見るには、**メニュー > 証明書の表示**をタップしてください。

注意 以下の場合、デジタル署名が無効になります。

- 差出人の証明書の期限切れ
- 証明を認証するサーバーが使用不可

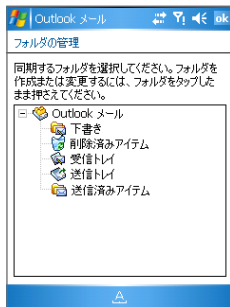
フォルダの管理

各メールアプリケーションには、5つのメッセージフォルダ（受信トレイ、送信トレイ、削除済みアイテム、下書き、送信済みアイテム）があります。

フォルダ名

メールやメッセージを削除するには

1. フォルダ名の表示をタップし、OutlookメールまたはSMSメッセージのいずれかを選択してください。
2. 各フォルダの一覧画面で削除するメールを選択し、右下の**メニュー** > **削除**をタップしてください。削除したメールは削除済みアイテムフォルダに移ります。
3. 削除済みアイテムを空にするには、削除済みアイテムのメールやメッセージをタップしたままにし、表示されたポップアップから**削除**をタップしてください。

フォルダの管理画面

1. Outookを開き、右下の**メニュー**から**ツール** > **フォルダの管理**をタップしてください。
2. フォルダの管理画面で各フォルダをタップしたままにし、新しいフォルダを作成したり、削除したりすることができます。

7.2 電子メールセキュリティの設定

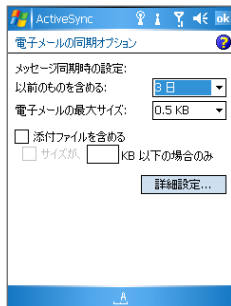
本機のWindows Mobile®は、メッセージにデジタル署名を付け、メッセージを暗号化するS/MIME（Secure/Multipurpose Internet Mail Extension）を使ってOutlookメールを保護します。

S/MIMEは許可キーと証明書を使って電子メールメッセージにデジタル署名を付け、受信者に対して発信者の身元を証明します。メッセージを暗号化するときには、プライバシー保護を強化し、メッセージへの不当な改ざんや、ハッカーによる侵入を防止するために、許可キーも使用されます。メッセージは証明書有りまたは無しで暗号化することができます。ただし、暗号化したメッセージはこれを解読するのに有効な証明書がなければ読むことはできません。

注意 Windows Mobile® ベースの本機のS/MIME暗号化やデジタル署名は、S/MIMEに対応するExchange Server 2003 Service Pack 2以上のバージョンでしか使用することができません。
これらいずれかの製品が使用されていない場合や、まだ同期を行ったことがない場合は、これらのオプションは使用できません。

すべてのメッセージにデジタル署名を付けて暗号化する

ActiveSyncではS/MIME暗号化と署名を設定することができます。電子メールに署名を付けて暗号化するには、有効な証明書が必要です。

1. **スタート** > **プログラム** > **ActiveSync**をタップしてください。
2. **メニュー** > **オプション**をタップしてください。
3. **電子メール**の種類を選択し、**設定**をタップしてください。メールの同期オプションの画面で**詳細設定**をタップしてください。

4. 以下のセキュリティオプションを選択してください。
   - **すべての送信電子メールメッセージに署名：**
     送信する電子メールすべてに署名し、発信者があなたであり、いかなる変更も加えられていないことを証明します。
   - **すべての送信電子メールメッセージを暗号化：**
     送信する電子メールをすべて暗号化し、指定した受信者しか電子メールを読めないようにします。

5. **証明書の選択**をタップして、署名の証明書か、送信電子メールの暗号化を選択してください。

   すべての送信電子メールに署名したり、暗号化したりする必要がない場合は、メッセージを毎に選択することができます。個々のメッセージに署名をしたり、暗号化したりするための方法については、「7.1 電子メールとSMSメッセージ」の「メッセージに署名して暗号化する」を参照してください。

メモ　メッセージに個々に署名を付けて暗号化する方法については、「7.1 電子メールとSMSメッセージ」の「メッセージに署名して暗号化する」を参照してください。

7.3 連絡先

連絡先には電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、記念日などを登録することができます。また、静止画を添付したり、着信音を設定することもできます。

連絡先を新規作成するには

1. **スタート** > **連絡先**をタップしてください。
2. **新規作成**をタップして、情報を入力してください。
3. **OK**をタップしてください。

メモ　**メニュー** > **連絡先に保存**をタップすると、通話履歴やメッセージから連絡先データを作成することができます。

USIMカードに連絡先を作成するには

1. 連絡先画面で**メニュー** > **新しいSIM連絡先**をタップするか、または**スタート** > **USIMマネージャ** をタップしてください。
2. **新規作成**をタップして、名前と電話番号を入力してください。
3. **保存**をタップすると情報がUSIMカードに保存されます。

連絡先の情報を編集するには

1. **スタート** > **連絡先**をタップしてください。
2. 連絡先をタップしてください。
3. **メニュー** > **編集**をタップして、変更を行ってください。
4. **OK**をタップしてください。

メモ　USIMカードの連絡先情報を変更するには、**スタート** > **USIMマネージャ**をタップし、USIM連絡先をタップして編集してください。 編集が完了したら、**保存**をタップしてください。

USIM 連絡先を本機にコピー

USIMカードに連絡先が保存されている場合は、それらを本機の連絡先にコピーすることができます。

1. **スタート** > **プログラム** > **USIMマネージャ**をタップしてください。
2. 一件ずつ本機にコピーするには、保存したい連絡先をタップしたままにし、連絡先に保存をタップしてください。

メモ　USIMマネージャの連絡先を一括で本機にコピーする場合は、USIMマネージャで**メニュー**>**すべてを選択**をタップし、さらに**メニュー**>**連絡先に保存**をタップしてください。

連絡先をUSIMカードにコピーするには

USIMカードには1つの連絡先につき1個の電話番号しか保存できません。複数の電話番号を持つ連絡先は、異なる名前で保存されます。

1. **スタート** > **プログラム** > **USIMマネージャ**をタップしてください。
2. **メニュー** > **USIMに保存する連絡先**をタップしてください。
3. **USIMカードにコピーしたい連絡先**をチェックし、**保存**をタップしてください。

複数の電話番号を持つ連絡先の場合

1. **スタート** > **プログラム** > **USIMマネージャ**をタップし、**メニュー** > **ツール** > **オプション**をタップしてください。
2. オプション画面でUSIMカードに追加したい電話番号の種類を選択してください。
3. マークを変更するには、**編集**をタップしてください。
4. 編集が完了したら、**OK**をタップしてください。
5. **メニュー** > **USIMに保存する連絡先**をタップしてください。
6. USIMカードにコピーしたい連絡先のチェックボックスを選択し、**保存**をタップしてください。

連絡先を検索するには

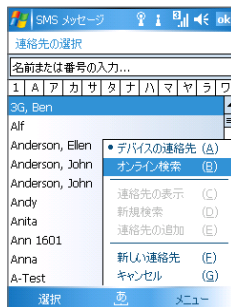
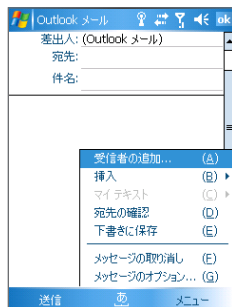
連絡先一覧に大量のデータがある場合は、いくつかの方法で連絡先を検索することができます。

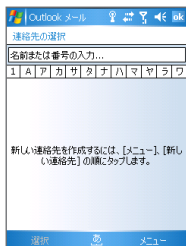
1. **スタート** > **連絡先**をタップしてください。
2. **メニュー** > **表示方法** > **名前**をタップしてください。
3. 次のいずれかの操作を行ってください。
   - 画面上方のテキストボックスに検索する名前か電話番号の最初の文字を入力してください。該当する連絡先が表示されます。テキストボックス右の矢印をタップすると、すべての連絡先が表示されます。
   - 画面上方の検索用インデックスを使用してください。
   - 画面右下の**メニュー** > **フィルタ**をタップし、連絡先の**分類項目**（会社関係、個人など）をタップしてください。

連絡先をオンラインで検索するには

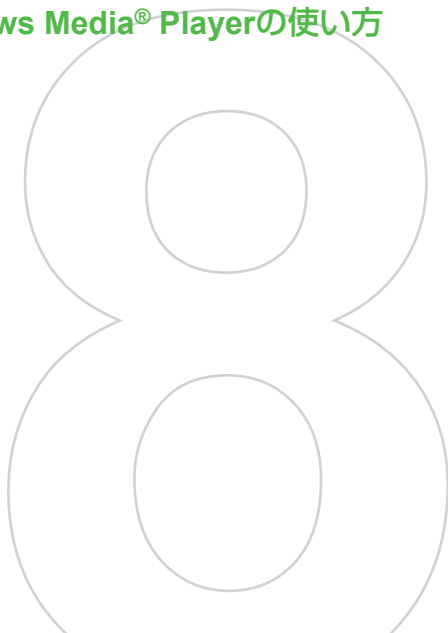
本機に保存された連絡先だけでなく、組織の全体住所録 (GAL) から連絡先情報にアクセスすることもできます。「GAL」とは、すべてのユーザー、グループ、ディストリビューションリスト、組織のメールアドレスが記録された住所録であり、Exchange Serverに保管されています。本機からGALに直接オンラインアクセスできることによって、簡単に会議の予定を立てて、出席依頼を電子メールで送信することができます。

勤務先でMicrosoft Exchange Server 2003 SP2が使用されており、Exchange Serverとの同期がすでに完了している場合は、GALにアクセスすることができます。

1. まだExchange Serverと同期を取ったことがない場合は、同期を行ってください。
2. **スタート** > **連絡先** > **メニュー** > **表示方法** > **名前**をタップしてください。
3. 次のいずれかの操作を行ってください。
   - 連絡先で**メニュー** > **オンライン検索**をタップしてください。
   - 新しいメッセージで、**宛先**欄をタップしてください。**メニュー** > **受信者の追加** > **メニュー** > **オンライン検索**をタップしてください。

   - 予定表の新しい予定作成画面で**出席者**をタップし、**メニュー** > **オンライン検索**をタップしてください。

4. 連絡したい人の名前の一部か全部を入力し、**検索**をタップしてください。リストから任意の連絡先を選択し、**選択**をタップしてください。

注意
- 本機はデータ接続で設定されていなければなりません。
- 勤務先のGALに情報 (姓、名、電子メール名、メールアドレス、事業所) が含まれている場合は、情報を検索することができます。

第8章

マルチメディア体験

8.1 カメラの使い方

本機のカメラを使って、静止画の撮影やビデオクリップの録画ができます。静止画やビデオクリップを撮影する前に、本体裏側にあるメインカメラを次のいずれかのモードに合わせてください。

標準モード 標準範囲で撮影します。

マクロモード クローズアップして撮影します。

カメラを起動するには

次のいずれかの方法でカメラを起動することができます。

- 本機のカメラボタンを押してください。

カメラボタン

- **スタート** > **プログラム** > **カメラ**をタップしてください。
- **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ** > **カメラ**アイコンをタップしてください。

画面設定にかかわらず、横モードで起動します。カメラ利用時は縦モードになりません。

カメラを終了するには

- 終了アイコン ( ) をタップしてください。

キャプチャモード

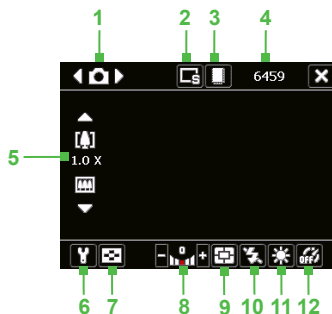
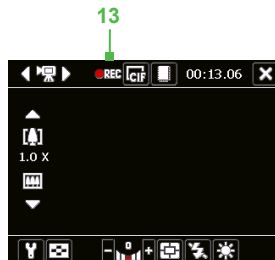
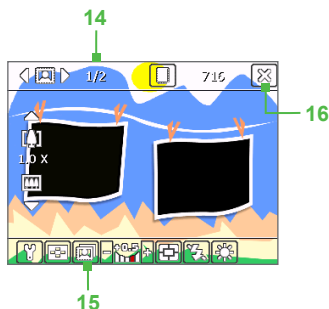
本機のカメラでは、キャプチャモードを切り替えて静止画やビデオクリップ (動画) を撮影することができます。キャプチャモードのデフォルトはフォトモードに設定されています。キャプチャモードを切り替えるには、次のいずれかの操作を行ってください。

- 画面左上の か をタップしてください。
- 左右のナビゲーションコントロールで選択してください。

現在のキャプチャモード

以下の7種類のキャプチャモードがあります。

- フォト：静止画を撮影します。
- ビデオ：ビデオクリップを撮影します。
- 連絡先ピクチャ：連絡先画像として撮影します。
- ピクチャのテーマ：フレーム付の静止画を撮影します。
- パノラマ：連続的に静止画を手動で撮影し、貼り合わせてパノラマフォトを作成します。
- スポーツ：連続的に静止画を3～10枚まで自動で撮影します。
- 連写：連続的に静止画を最大30枚まで自動で撮影します。

撮影/録画時画面

フォトモード

ビデオモード

ピクチャのテーマモード

1 **モード切り替え** ◀/▶ をタップすると、キャプチャモードを切り替えます。詳細は「8.1 カメラの使い方」の「キャプチャモード」を参照してください。

2 **解像度** 現在の解像度を（S / M / L / 1M / 2M）のいずれかで表します。タップするごとに切り替わります。選択する解像度に応じて、撮影できる枚数（目安）がアイコンの右側に表示されます。

3 **保存先**　タップすると、撮影した静止画やビデオクリップを本体のメモリ ( ) に保存するか、またはメモリカード ( ) に保存するかを切り替えます。選択する保存先に応じて、撮影できる枚数 (目安) がアイコンの右側に表示されます。

4 **残り時間**　ビデオモードの場合、録画可能な残り時間が表示され、撮影中は録画の経過時間を表示します。

5 **ズームコントロール**　画面の (/) アイコン、または (/) アイコンをタップすると、ズームイン/アウトします。(上下のナビゲーションコントロールもズームレベルの調整に使用できます。)

6 **カメラ設定**　ツール ( ) をタップするとカメラ設定画面が開きます。詳細は「8.1 カメラの使い方」の「カメラ設定画面」を参照してください。

7 **ピクチャビューア**　 をタップすると静止画やビデオクリップを見ることができます。詳細は「8.2 静止画とビデオファイルの扱いについて」を参照してください。

8 **明るさ**　 / をタップすると、静止画の明るさのレベルを調整することができます。

9 **測定モード**　 をタップすると被写体に応じてピントを中心に合わせることができます。

10 **フラッシュライト**　 / をタップすると、本体裏側にあるフラッシュライトをオン/オフを切り替えます。

11 **ホワイト バランス**　タップするごとに、自動 ( )、日光 ( )、暗所 ( )、電球 ( )、蛍光灯 ( ) に切り替わります。詳細は「8.1 カメラの使い方」の「カメラ設定画面」を参照してください。

12 **セルフタイマー**　フォト、連絡先ピクチャ、スポーツのモードのときにタップすると、セルフタイマーを2秒、10秒、またはオフに設定します。静止画を撮影するためにENTERボタンかカメラボタンを押すとカメラはカウントダウンを開始し、設定した時間 (2秒または10秒) が経過すると撮影します。詳細は「8.1 カメラの使い方」の「カメラ設定画面」を参照してください。

13 **録画インジケータ**　ビデオクリップを録画している間、このインジケータは赤く点滅します。

14 進行状況インジケータ　ピクチャのテーマ、パノラマ、スポーツ、フォトモードでは、連続撮影静止画の合計数が表示されます。

15 テンプレートセレクタ　ピクチャのテーマモードで をタップすると、別のテンプレートに切り替えることができます。

16 終了　 をタップするとカメラプログラムを終了します。

静止画を撮影する

1. キャプチャモードを設定してください。
   以下のいずれかのキャプチャモードを選択できます。
   フォト/連絡先ピクチャ/ピクチャのテーマ/パノラマ/スポーツ/連写
2. カメラボタンまたはナビゲーションコントロールのENTERボタンを押してください。

撮影した静止画は、JPEGフォーマットで「マイピクチャ」フォルダに保存されます。静止画を見るには、「8.2 静止画とビデオファイルの扱いについて」の「静止画を見るには」を参照してください。

メモ　ピクチャのテーマモードでは静止画をキャプチャするときに、テンプレートを選択することができます。別のテンプレートを見たり、選択したりするには、カメラ画面で をタップしてください。選択するテンプレートによって、テンプレートで必要なフォトの数が異なります。

ビデオクリップを録画する

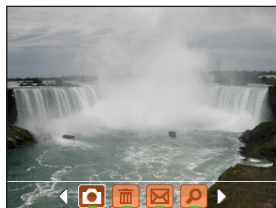
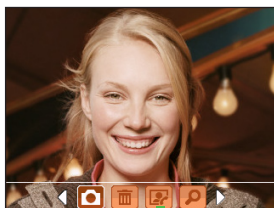
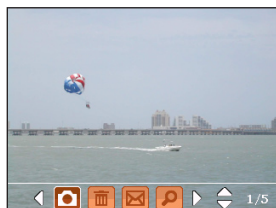
1. キャプチャモードをビデオに設定してください。
2. カメラボタンまたはナビゲーションコントロールのENTERボタンを押して録画を開始してください。
3. カメラボタンまたはナビゲーションコントロールのENTERボタンを押して録画を終了してください。

録画したビデオクリップは、MPEG-4フォーマットで「マイビデオ」フォルダに保存されます。ビデオクリップを再生するには「8.2 静止画とビデオファイルの扱いについて」の「ビデオを再生するには」を参照してください。

メモ　ビデオクリップを撮影する前に、カメラ設定画面で撮影する長さ (時間) やファイルサイズを指定することができます。

レビュー画面

静止画やビデオクリップを撮影した後、レビュー画面の下にあるアイコンをタップすると、撮影した静止画やビデオクリップを削除したり、電子メールで送信したりすることができます。

レビュー画面のアイコン

1 2 3 4
フォト、ビデオ、パノラマ、
ピクチャのテーマモード

5
連絡先ピクチャモード

6
スポーツと連写モード

1 **戻る** をタップすると、カメラ画面に戻ります。

2 **削除** をタップすると、撮影した静止画やビデオクリップを削除します。

3 **送信** をタップすると、撮影した画像を電子メールに添付して送付できます。

4 **表示** をタップすると静止画を表示するか、またはビデオクリップをWindows Media® Playerで再生します。

5 **連絡先に割り当て** をタップすると撮影した画像を連絡先に貼り付けることができます。

6 **ブラウズ** スポーツまたは連写モードで静止画を撮影した後、レビュー画面の右下に連続撮影した静止画の合計数が表示されます。上/下矢印（ ）をタップすると、一連の静止画をブラウズすることができます。

メモ　レビュー時間を変更するには「8.1 カメラの使い方」の「カメラ設定画面」を参照してください。

カメラ設定画面

静止画やビデオクリップの撮影時、ツールアイコン（ ）をタップするとカメラ設定画面を開くことができます。

フォトモードのカメラ設定画面

カメラ設定画面の一番下にあるアイコンをタップすると、別のメニューが表示されます。
メニューやオプションによっては、特定のキャプチャモードでしか使用できないものがあります。

セルフタイマーメニュー（フォト、連絡先ピクチャ、スポーツモード時）

- シャッターを押してから撮影するまでの時間を2秒、または10秒に設定することができます。

テンプレートメニュー (ピクチャのテーマモード時)

- 3種類のテンプレートから選択できます。

パノラマ設定メニュー (パノラマモード時)

- **方向**　静止画をつなげる方向を選択します。
- **スティッチ数**　撮影回数 (つなげる回数) を3～6枚の間で選択できます。
- **自動スティッチ**　オンに設定すると、撮影した画像を自動的につなげてひとつのファイルとして保存します。

スポーツ設定メニュー (スポーツモード時)

- **連写回数**　続けて撮影する静止画数を3～10枚の間で設定できます。

フラッシュライトメニュー

- フラッシュライトはスポーツモードと連写モードを除く、すべてのモードで使用できます。

環境メニュー

- **ホワイト バランス**　照明環境に合わせて、蛍光灯や暗所などの設定を選択できます。
- **効果**　グレイスケール、セピアなどの特殊効果を選択できます。

キャプチャ設定メニュー

- **解像度**　任意の静止画サイズやビデオサイズを選択できます。
- **画質**　撮影するJPEG静止画の品質レベルから選択できます。(ビデオモードでは画質の設定はできません。)
- **保存容量**　ファイルを保存しておく場所 (本体メモリかメモリカード) を選択できます。
- **測定モード**　被写体に応じてピントの合わせ方を選択できます。

キャプチャモードメニュー

- キャプチャモード (フォト、ビデオ、連絡先ピクチャなど) を切り替えることができます。

詳細設定メニュー

- **キャプチャフォーマット**　静止画の場合はJPEG、ビデオクリップの場合はMPEG-4のフォーマットをサポートしています。
- **グリッド表示**　カメラ画面にグリッドを表示するかどうかを指定します。グリッドを表示することによって、被写体を正確にフレーム内に収めたり、中央配置したりすることができます。
- **バックライトを維持**　カメラを使用している間、バックライトをオンにするかどうかを指定します。カメラを使用している間は、ここでの設定が本機のバックライト設定よりも優先されます。
- **レビュー時間**　撮影した静止画やビデオクリップを自動的に保存し、カメラ画面に戻るまでの長さを指定します。時間制限を設けたくない場合は、**制限なし**を選択してください。**レビューしない**を選択すると、撮影後カメラ画面に戻ります。
- **ちらつき調整**　ご利用地域の電源周波数の違い (50Hzか60Hz) によっては、カメラ画面が蛍光灯の光に影響を受け、ちらついて見える場合があります。このちらつきを低減させるためには、自動・50Hz・60Hzのいずれかに合わせてください。
- **音声録音**　ビデオクリップを撮影する際、音声の録音をオフにすることもできます。
- **保存ファイル名**　撮影した静止画やビデオクリップに付与するファイル名を選ぶことができます。デフォルトを選択すると、「IMAGE」または「VIDEO」の後ろに番号が順に付与されます。日付および日付/時刻を選択すると、本機の時計とアラームで設定されている日時が付与されます。
- **カウンター**　新しく撮影した静止画やビデオクリップを保存する際、ファイル名に番号が順に付与されます。番号を「001」に戻すには、リセットを選択してください。
- **記録制限**　ビデオクリップを撮影する際、サイズまたは時間を設定することができます。
- **テンプレートフォルダ**　ピクチャのテーマモードで使用するテンプレートのフォルダです。

- **調整**　コントラスト、色合い、シャープネスなどのカメラ表示のプロパティを調整します。

1. 設定を保存し、サブメニューを閉じます。
2. すべてのプロパティをデフォルト値に戻します。
3. 変更を適用、保存せずにサブメニューを閉じます。

ズーム

被写体を撮影する際、クローズアップするためにズームイン機能を使ったり、より広い範囲を撮影するためにズームアウト機能を使うことができます。ズームインするにはナビゲーションコントロールの上ボタンを押すか、ズームコントロールの（ ）をタップしてください。ズームアウトするには、ナビゲーションコントロールの下ボタンを押すか、ズームコントロール（ ）をタップします。なお、ズームの範囲はキャプチャモードとキャプチャサイズによって異なりますので以下の表を参照してください。

キャプチャモード	キャプチャサイズの設定	ズーム範囲
	2M (1600 x 1200)	ズーム機能なし
	1M (1280 x 1024)	ズーム機能なし
フォト	L (640 x 480)	1.0倍から4.0倍
	M (320 x 240)	1.0倍から8.0倍
	S (160 x 120)	1.0倍から8.0倍

キャプチャモード	キャプチャサイズの設定	ズーム範囲
ビデオ	CIF (352 x 288)	ズーム機能なし
	L (320 x 240)	ズーム機能なし
	M (176 x 144)	1.0倍から2.0倍
	S (128 x 96)	1.0倍から2.0倍
連絡先ピクチャ	L (640 x 480)	1.0倍から4.0倍
	M (320 x 240)	1.0倍から8.0倍
	S (160 x 120)	1.0倍から8.0倍
ピクチャのテーマ	現在のテンプレートにより決定	現在ロードされているテンプレートのサイズによる
パノラマ	L (640 x 480)	1.0倍から4.0倍
	M (320 x 240)	1.0倍から8.0倍
	S (160 x 120)	1.0倍から8.0倍
スポーツ	L (640 x 480)	1.0倍から2.0倍
	M (320 x 240)	1.0倍から8.0倍
連写	1M (1280 x 1024)	ズーム機能なし
	L (640 x 480)	1.0倍から2.0倍
	M (320 x 240)	1.0倍から8.0倍

8.2 静止画とビデオファイルの扱いについて

本機が対応している静止画やビデオファイルの拡張子は以下のとおりです。

項目	拡張子
静止画	*.bmp, *.jpg
アニメーション	*.gif
ビデオ	*.avi, *.wmv, *.mp4, *.3gp

静止画、アニメーション、ビデオの各ファイルを本機にコピーする

- コピーしたいファイルをPCやメモリカードから本機の「マイピクチャ」フォルダまたは「マイビデオ」フォルダにコピーしてください。

PCから本機へファイルをコピーする手順については、PCでActiveSyncヘルプを参照してください。

静止画を見るには

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。

メモ　デフォルトでは、「マイピクチャ」フォルダの静止画がサムネイルで表示されます。

2. 静止画を選択し、**表示**をタップしてください。他のフォルダの静止画を見たい場合、下矢印 (▼) をタップしてください。

メモ　デフォルトの「マイ ピクチャ」フォルダに静止画がないときには、下矢印 (▼) をタップして別のフォルダを探してください。

GIF アニメーションファイルを再生するには

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。
2. アニメーションのファイルを選択し、**表示**をタップするとGIFアニメーションプログラムが起動し再生します。

ビデオを再生するには

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。。

メモ　デフォルトでは、「マイピクチャ」フォルダの内容が表示されます。

2. 録画したビデオクリップを検索するには、「マイピクチャ」フォルダの横にある下向き矢印 (▼) をタップし、「My Documents」をタップしてください。次に「マイビデオ」をタップすると、ビデオクリップがサムネイルで表示されます。
3. 見たいビデオクリップをタップすると、Windows Media® Player で再生します。

スライドショーを見るには

各静止画が5秒間隔で全画面表示されます。

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。
2. **メニュー** > **スライドショーの再生**をタップしてください。

注意 スライドショーで静止画が表示される向きを調整することができます。**メニュー** > **オプション**をタップした後、**スライドショー**タブで**静止画 (縦)** か**静止画 (横)** をタップしてください。

画面をタップすると、スライドショーツールバーが表示されます。ここにはスライドショーを中止または一時停止したり、表示を回転させたりするためのツールがあります。 前後のスライドに移動するには、左右ナビゲーションコントロールを押してください。

静止画やビデオクリップを並べ替えるには

静止画やビデオクリップは名前、日付、サイズで並べ替えることができます。

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。
2. 画面右上の並べ替えリスト (デフォルトでは**日付順**となっています) をタップして、項目 (**名前順**、**日付順**、**サイズ順**) を選択してください。

静止画やビデオクリップを削除するには

次のいずれかの操作で静止画やビデオクリップを削除することができます。

- **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップした後、**メニュー** > **削除**をタップしてください。
- 削除したいファイルのサムネイルをタップしたままにして、**削除**をタップしてください。**はい**をタップして削除してください。

静止画を編集するには

静止画の回転・トリミング・明るさやコントラストの調整を行うことができます。

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。
2. 編集したい静止画をタップしてください。
3. **メニュー** > **編集**をタップして、次のいずれかの操作を行ってください。
   - **回転**をタップするごとに、静止画が左に90度づつ回転します。
   - トリミングするには、**メニュー** > **トリミング**をタップしてください。次にトリミングしたいエリアをタップしたままドラッグし、トリミングエリアの内側をタップしてください。(中止するにはエリアの外側をタップしてください。)
   - 静止画の明るさとコントラストを調整するには、**メニュー** > **自動修正**をタップしてください。

メモ　編集を元に戻すには、**メニュー** > **元に戻す**をタップしてください。静止画に加えた変更内容は未保存であれば、**前回保存したときの状態に戻す**をタップすると編集前の状態に戻ります。

静止画を Today画面の背景として使うには

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。
2. 背景に使いたい静止画を選択してください。
3. **メニュー** > **Todayの背景に設定する**をタップしてください。
4. **透過レベル**で、静止画の透明度をパーセンテージで調整してください。
5. **OK**をタップしてください。

静止画やビデオクリップを電子メールで送信するには

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。
2. Outlookで送信したい静止画を選択してください。
3. **メニュー** > **送信**をタップしてください。
4. ファイルが添付された状態の新しいメッセージが作成されます。
5. 宛先と件名を入力し、**送信**をタップしてください。(このメッセージはPCと同期すると送信されます。)

静止画やビデオクリップをビームするには

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。
2. ビームしたいファイルを選択してください。
3. **メニュー** > **画像のビーム**をタップしてください。
4. ファイルのビーム先となるデバイスを選択してください。
5. **OK**をタップしてください。

連絡先に静止画を割り当てるには

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。
2. 連絡先に割り当てる静止画を選択してください。
3. **メニュー** > **連絡先に保存**をタップしてください。
4. 連絡先を直接タップするか、**選択**をタップしてください。

その他の静止画設定をカスタマイズするには

1. **スタート** > **プログラム** > **静止画とビデオ**をタップしてください。
2. 設定をカスタマイズしたい静止画を選択してください。
3. **メニュー** > **オプション**をタップするとオプション画面が表示されます。ここでは次のような操作が可能です。
   - 静止画を電子メールで早く送信できるようにリサイズできます。
   - 回転機能を使って静止画を回転させます。
   - スライドショーの表示設定をカスタマイズしたり、スクリーンセーバーを有効にします。

8.3 Windows Media® Playerの使い方

Microsoft Windows Media® Player 10 Mobile for Pocket PCは本機やネットワーク（Webサイトなど）上にあるデジタルオーディオファイルやビデオファイルを再生するためのプログラムです。

Windows Media® Playerを使用することによって、オーディオファイルもビデオファイルもお楽しみいただくことができます。このWindows Media® Playerでサポートされるファイル形式は次の通りです。

対応するビデオファイル形式	ファイルの拡張子
• Windows Media Video	.wmv, .asf
• MPEG4 Simple Profile	.mp4
• H.263	.3gp
• Motion JPEG	.avi
• 3GPP2	.3g2

対応するオーディオファイル形式	ファイルの拡張子
• Windows Media Audio	.wma
• MP3	.mp3
• MIDI	.mid, .midi, .rmi
• AMR Narrow Band	.amr
• AMR Wide Band	.awb
• AAC	.m4a
• 3GPP2	.gcp

ライセンスと保護されたファイルについて

コンテンツ（インターネット、CDトラック、ビデオからダウンロードしたデジタルメディアファイル）の中には法律に反する配布や共有を防止するためにライセンスが付いているものがあります。ライセンスはデジタル著作権管理（DRM）によって作成、管理されています。これはコンテンツの安全性を確保し、そのアクセス権を管理するための技術です。ライセンスによっては、本機にコピーしたファイルを再生できないようにするものがあります。ライセンス付きのファイルを「保護されたファイル」と呼びます。

PCから本機に保護されたファイルをコピーするには、デスクトップのプレーヤーを使って本機とファイルを同期させてください (PCのフォルダから本機のフォルダへファイルをドラッグするのではありません)。本機と他のデバイスの間でファイルを同期させる方法については、デスクトップのプレーヤーのヘルプを参照してください。

注意　ファイルの保護状態を見るには、ファイルのプロパティを確認してください (メニュー > プロパティをタップしてください)。

メディアの再生

本機でアイテムを再生するには

Windows Media® Player Mobileのライブラリを活用して、本体やmicroSD™に保存されている音楽、ビデオ、再生リストを検索、再生することができます。

1. Windows Media® Player Mobileを起動し、**メニュー > ライブラリ**をタップしてください。
2. ライブラリ画面で**ライブラリ**をタップし、使用したいメディアをタップしてください。
3. Windows Media® Player Mobileが自動的にライブラリを更新します。手動でライブラリを更新することもできます。**メニュー > ライブラリの更新**をタップして、手動でライブラリリストを更新してください。
4. カテゴリー (例：マイ ミュージックや再生リスト) を選択してください。
5. 再生したいアイテム (音楽、アルバム、アーティスト名) をタップしたままで、**再生**をタップしてください。

メモ　本体に保存されているがライブラリにはないファイルを再生するには、ライブラリ画面で**メニュー > ファイルを開く**をタップしてください。再生したいアイテム (ファイルやフォルダ) をタップしたままで、**再生**をタップしてください。

ネットワーク上のアイテムを再生するには

インターネットやネットワークサーバー上にある音楽やビデオを再生するには、**URLを開く**コマンドを使用してください。

1. Windows Media® Player Mobileを起動し、**メニュー > ライブラリ**をタップしてください。

2. **メニュー > URLを開く**をタップしてください。
3. 次のいずれかの操作を行ってください。
   - **URL**欄にネットワークアドレスを入力してください。
   - **履歴**欄に表示された前に使用したURLをタップしてください。

メモ　ネットワーク上のアイテムを再生するには、そのネットワークに接続する必要があります。本機をネットワークにリモート接続する方法については、本機の接続ヘルプを参照してください。

画面について

Windows Media® Playerには3つの画面があります。

- **再生画面**　再生コントロール (再生、一時停止、早送り、巻き戻し、音量) とビデオウィンドウを持つデフォルトの画面です。
- **再生中画面**　再生中リストを表示する画面です。このリストには、現在再生中のファイルと次に「再生待ち」のファイルが表示されます。
- **ライブラリ画面**　オーディオファイル、ビデオファイル、再生リストをすばやく検索できる画面です。ここにはマイ ミュージック、マイ ビデオ、マイ テレビ、再生リストなどのカテゴリーがあります。

各画面下にある**メニュー**を開くことができます。このメニューのコマンドは、表示している画面によって変わります。これらのメニューのコマンドについては、本機のヘルプを参照してください。

再生画面について

Windows Media® Playerでは次のような操作が可能です。

コントロール		説明
1		ファイルを再生/一時停止します。
2		ビデオを全画面に表示します。
3		再生する音楽やビデオが掲載されたWebサイトを表示します。
4		ビデオの再生状況を確認、調整すます。
5		巻き戻しします。
6		早送りします。
7		音量を下げます。
8		音量を上げます。
9		サウンドのオン/オフを切り替えます。

ファイルをコピーする

最新バージョンのデスクトップのプレーヤー (Windows Media® Player 10以上) を使って、本機とデジタルメディアファイルの同期を取ることができます。

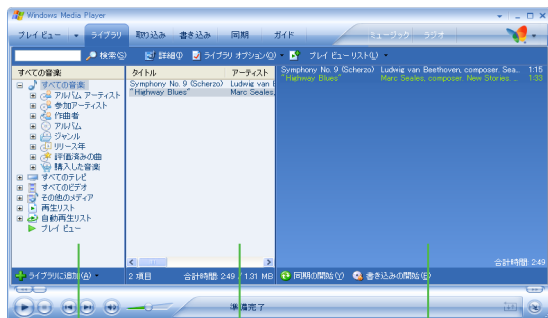
ファイルは必ず本機に挿入したメモリカードと同期してください。メモリカードをメモリカードリーダーに挿入して同期を行わないでください。また本機の内部メモリ (RAM) とも同期しないでください。

コンテンツを本機に自動同期させるには

1. PCでWindows Media® Playerを起動してください。
2. 本機に32MB以上のメモリカードを挿入し、本機とPCを接続してください。
3. 本機とPCの間に同期が設定されていない場合は、PCで設定ウィザードが開きます。
4. このウィザードで**自動**をクリックし、**同期させる再生リストを指定する**を選択し、同期したい再生リストを選択してください。
5. **完了**をクリックしてください。

メモ　ファイルが本機に同期されます。 次回本機と、Windows Media® Player のデスクトップ版が起動されているPCを接続すると、自動的に同期が開始されます。

本機に手動で同期、コピーするには

1. 「8.3 Windows Media® Playerの使い方」の「コンテンツを本機に自動同期させるには」の手順1から3までの手順を行い、ウィザードで**手動**同期を選択してください。
2. 次の手順で本機に同期、コピーするファイルを選択してください。
   - **ライブラリ**タブをクリックしてください。
   - 右端のドロップダウンリストをクリックし、同期リストを選択してください。
   - 左端の再生リストで任意の再生リストを選択してください。
   - 中央のファイルリストからファイルを選択し、同期リストにドラッグしてください。
   - 同期リストの下にある**同期の開始**ボタンをクリックしてください。

再生リスト　ファイルリスト　同期リスト

注意　本機にコピーされたオーディオファイルの音質を自動的に調整するようにデスクトップのプレーヤーが設定されていると、オーディオファイルが速くコピーされます。詳細は、PCデスクトップのプレーヤーヘルプを参照してください。

第9章

他のアプリケーションの使い方

9.1 Word Mobile

Word Mobileでは、PCで作成したWord文書を本機で閲覧し、編集することができます。またWord Mobileで作成、編集した文書やテンプレートを ***.doc**、***.rtf**、***.txt**、***.dot**形式で保存することも可能です。

Word Mobileでは一度に1個の文書しか開くことができません。他の文書を開くと、最初の文書は自動的に保存され終了されます。

Wordファイルを作成するには

1. Word Mobileで新規をタップすると、白紙の文書が表示されます。(他のテンプレートを利用するには**メニュー** > **オプション** > **既定のテンプレート**を選択ます。)
2. テキストを入力してください。
3. **メニュー**をタップすると、フォント、段落配置やインデントを設定したり、日付を挿入することができます。
4. 入力が完了したら**OK**をタップしてください。ファイルが自動的に保存されます。(ファイルに名前を付けたい場合は**メニュー** > **ファイル** > **名前を付けて保存**を選択し、名前を入力してください。)

メモ　新しく作成した文書を閉じると、文書の最初の文字が自動的にファイル名として使用されます。

注意　Word Mobileは更新箇所の表示やパスワード保護などMicrosoft Wordの一部機能をサポートしていません。よって、本機にて文書を保存すると一部データや書式が失われる場合があります。Word Mobileでサポートされていない機能については本機のヘルプを参照してください。

9.2 Excel Mobile

Excel Mobileでは、PCで作成したワークシートやテンプレートを本機で閲覧し、編集することができます。また新規でワークシートやテンプレートを作成することも可能です。

Excelファイルを作成するには

1. Excel Mobileで新規をタップすると、空白のブックが表示されます。(他のテンプレートを利用するには**メニュー** > **オプション** > **新しいブックのテンプレート**を選択します。)

2. 選択したいセルをタップし、データを入力してください。
3. **メニュー**をタップすると、セル・グラフ・記号・関数の挿入、書式設定や編集を行うことができます。
4. 入力が完了したら**OK**をタップしてください。ファイルが自動的に保存されます。(ファイルに名前を付けてたい場合は**メニュー** > **ファイル** > **名前を付けて保存**を選択し、名前を入力してください。)

メモ
- **表示** > **全画面表示**をタップすると、広い範囲でワークシートをみることができます。
- **表示** > **ズーム**をタップすると、ワークシートの表示画面の大きさをパーセンテージ単位で変更することができます。

注意　Excel Mobileは数式やセルコマンドなどWindows Excelの一部機能をサポートしていません。したがって、本機にて文書を保存すると一部データや書式が失われる場合があります。Excel Mobileでサポートされていない機能については本機のヘルプを参照してください。

9.3 PowerPoint Mobileでスライドショーを見る

PowerPoint Mobileでは、PCで作成したファイルを本機で閲覧することができます。PowerPoint Mobileは、PowerPoint '97以降のバージョンで作成された***.ppt**および***.pps**形式のスライドショーのみ対応しています。

本機ではPCのスライドショーで使用される画面切り替えやアニメーションなどの機能にも対応しています。ハイパーリンクも使用することができます。

注意　PowerPoint Mobileでサポートされていない機能については本機のヘルプを参照してください。

プレゼンテーションファイルを閲覧するには

1. **スタート ＞ プログラム ＞ PowerPoint Mobile ＞ すべてのフォルダ**をタップしてください。
2. 閲覧するプレゼン用ファイルを選択し、タップしてください。
3. 画面をタップすると、次ページへ進みます。
4. スライド間を移動するには、 ⏶| ＞ **次へまたは戻る**をタップしてください。特定のスライドに移動するには ⏶| ＞ **スライドに移動**をタップし、移動したいスライドを選択してください。

注意
- スライドをズームインするには ⏶|＞ **拡大**をタップしてください。次ページに移動する場合は、必ず ⏶|＞ **縮小**をタップし、元の大きさに戻してください。
- **次へ**か**戻る**をタップすると、スライド間を移動する代わりに、アニメーションを再生する場合があります。

スライドショーを中止するには

- ⏶| ＞ **ショーの終了**をタップしてください。

9.4 ClearVue PDFの使い方

ClearVue PDFでは、PCで作成したPDF (Portable Document Format) ファイルを閲覧することができます。

PDFファイルを閲覧するには

1. **スタート ＞ プログラム ＞ ClearVue PDF**をタップしてください。
2. **ファイル ＞ 開く**をタップすると、PDFファイルがリストされます。
3. 閲覧するファイルを選択し、タップしてください。

閲覧画面を操作するには

- 画面のスクロールバーをスタイラスで上下左右に操作し、ページを移動してください。
- ナビゲーションコントロールを上下左右に押し、ページを移動/スクロールできます。

表示サイズを変更するには

1. PDFファイルを開いてください。
2. **ズーム**をタップしてください。
3. ズーム倍率を選択します。(ユーザー設定を選択すると任意の倍率を入力することができます。)

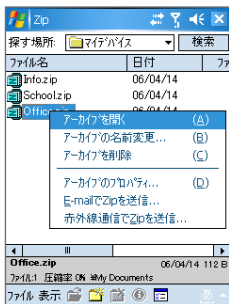
9.5 ZIP形式

ファイルをZIP形式で圧縮することができます。これによりメモリ使用量を減少させ、メモリ容量を効率よく使用することができます。アーカイブファイルを閲覧したり、圧縮されたファイルを解凍することができます。

ZIPを起動するには

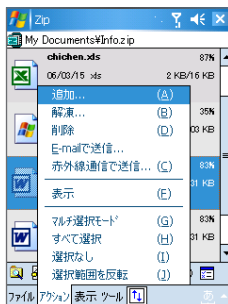
- **スタート** > **プログラム** > **ZIP**をタップしてください。

ファイルを解凍するには

1. 次のいずれかの方法でファイルを開いてください。
   - ファイルを選択し、**ファイル** > **アーカイブを開く**をタップしてください。
   - ファイルをタップしたままで、**アーカイブを開く**をタップしてください。
   - ファイルをダブルタップしてください。

注意　　複数のZIPファイルを同時に開くことはできません。

2. ZIPファイルに含まれるファイルが表示されます。次のいずれかの方法でファイルを選択してください。

   - ファイルをタップして選択してください。
   - 複数のファイルを選択するには、**アクション**をタップして**マルチ選択モード**を選択してください。各ファイルをタップしてファイルを選択してください (選択したファイルをもう一度タップすると、選択が解除されます)。
   - すべてのファイルを選択するには、**アクション** > **すべて選択**をタップしてください。

3. **アクション** > **解凍**をタップしてください。

4. ファイルを解凍するフォルダを選択し、**解凍**をタップしてください。

ZIPアーカイブを作成するには

1. ZIPを起動し、**ファイル** > **新規アーカイブ**をタップします。
2. ZIPファイルの名前を入力し保存するフォルダを指定してください。保存場所を本機のメインメモリに保存するか、メモリカードに保存するかを指定することもできます。
3. **保存**をタップしてください。
4. **アクション** > **追加**をタップしてください。
5. アーカイブしたいファイルが保存されているフォルダをダブルタップしてください。

6. 次のいずれかの方法でファイルを選択してください。
   - ファイルをタップして選択してください。
   - 複数のファイルを選択するには、画面をタップしたままにすると、選択項目が表示されます。マルチ選択モードを選択し、アーカイブする複数のファイルを選択してください。(選択したファイルをもう一度タップすると選択が解除されます。)
   - マルチ選択モードと同じやり方で選択項目を表示させてください。そこで**すべて選択**をタップしてください。
7. **追加**をタップしてください。
8. **ファイル > アーカイブを閉じる**をタップしてください。
9. ZIPファイルを閉じた後**ファイル > アーカイブを検索**をタップするとすべてのZIPファイルが表示されますので、ここで作成したアーカイブを確認できます。

9.6 予定表

予定表は会議やその他のイベントなどの管理に使用します。詳細を確認するには、それぞれの予定をタップしてください。

予定を立てるには

1. **スタート > 予定表**をタップしてください。
2. **メニュー > 新しい予定**をタップしてください。
3. 予定の名前を入力し、開始時間と終了時間などの情報を入力してください。
4. 終日かかる予定がある場合、**終日**で**はい**をタップしてください。
5. **OK**をタップしてカレンダーに戻ってください。

メモ
- 終日イベントは予定表の時間帯には表示されませんが、カレンダーの一番上に表示されます。
- 予定をキャンセルするには、予定をタップした後、**メニュー > 予定の削除**をタップしてください。

会議出席依頼を送信するには

予定表を使って、OutlookかOutlook Mobileを使用している連絡先に電子メールで会議出席依頼を送信できます。

1. **スタート** > **予定表**をタップしてください。
2. 新しい予定を立てるか、既存の予定を開き**編集**をタップしてください。
3. **出席者**をタップしてください。
4. 出席を依頼したい連絡先の名前をタップしてください。
5. 出席者を追加するには、**追加**をタップした後で名前をタップしてください。
6. **OK**をタップしてください。

メモ
- 出席依頼は次回本機をPCに同期させるときに、出席者に送信されます。
- VPNを利用して直接送信することもできます。

すべての新規予定に規定のアラームを設定するには

1. **スタート** > **予定表**をタップしてください。
2. **メニュー** > **オプション** > **予定**タブをタップしてください。
3. **新しいアイテムにアラームを設定する**をタップしてください。
4. 通知する時間を設定してください。
5. **OK**をタップするとカレンダーに戻ります。

メモ　Outlook2002で作成された会議出席依頼を受信すると、場所が正しく表示されません。また、承諾後、予定表でも場所が正しく表示されず、説明の内容が登録されません。

9.7 仕事

大事な用件や仕事の進捗状況を管理することができます。仕事には優先度やアラームなどを設定できます。

新しい仕事を作成するには

1. **スタート** > **プログラム** > **仕事**をタップしてください。

2. **メニュー>新しい仕事**をタップして仕事の件名を入力し、開始日や期限、優先度などを設定していきます。
3. **OK**をタップしてください。

メモ　**ここをタップして新しい仕事を追加**に件名を入力し、ENTERを押すと、開始日や期限などがない仕事を作成できます。

入力欄が表示されていないときは、仕事の一覧画面から**メニュー>オプション**をタップし、仕事入力バーを表示するをチェックしてください。

仕事の優先度を変更するには

1. 仕事の一覧画面で優先度を変更したい仕事をタップしてください。
2. **OK**をタップすると仕事の一覧画面に戻ります。

メモ　デフォルトでは、新しい仕事の優先度は標準になっています。

すべての新しい仕事にデフォルトのアラームを設定するには

1. 仕事の一覧画面でメニュー > **オプション**をタップしてください。
2. **新しいアイテムにアラームを設定する**をチェックしてください。
3. **OK**をタップすると仕事の一覧画面に戻ります。

注意　期限のない仕事に対してアラームは設定されません。

仕事一覧に開始日と期限を表示するには

1. 仕事の一覧画面で**メニュー** > **オプション**をタップしてください。
2. **開始日と期限を表示する**をチェックしてください。
3. **OK**をタップしてください。

仕事を検索するには

仕事が多い場合は、フィルタや並べ替え機能を利用して条件別に見やすく表示することができます。

- 仕事の一覧画面で**メニュー>並べ替え**をタップして、並べ替える条件を選択してください。
- 仕事の一覧画面で**メニュー>フィルタ**をタップして、表示する仕事の種類を選択してください。

仕事を分類するには

1. 仕事の一覧画面で分類する仕事をタップし、**編集**をタップしてください。
2. **分類項目**をタップし、一覧（会社関係、個人など）から分類を選択してください。
3. OKをタップすると仕事の一覧画面に戻ります。

メモ　分類項目の一覧画面で**新規**をタップすると、分類項目を追加できます。

9.8 ゲーム

Bubble Breaker

同じ色のバルーン（泡）を消していくゲームです。一度にたくさんのバルーンを消すと、高得点が得られます。

1. **スタート>プログラム>ゲーム>Bubble Breaker**をタップしてください。
2. 同じ色のバルーンが縦または横に並んでいるブロックをタップすると、同時に消せるバルーンが線で囲われ、得点が表示されます。
3. もう一度タップすると、ブロック内のバルーンが消えます。**ゲーム>元に戻す 移動**をタップすると、直前に消したブロックを元に戻すことができます。
4. 消せるブロックがなくなるとゲーム終了となり、得点などが表示されます。もう一度ゲームを始めるには、**新しいゲーム**をタップしてください。

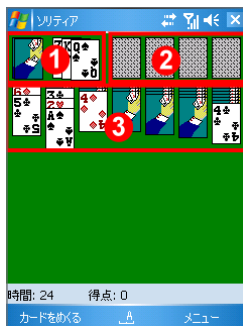
メモ
- 画面左下の**ゲーム>オプション**からサウンド、ゲームのスタイル、バルーンの色などを設定することができます。
- 画面右下の**情報>成績表**をタップすると、ゲームの成績を確認できます。

ソリティア

山札よりめくったカードを場札にて整理し、最終的に組札にマークごとに分けてAからKまでを数字順に積み重ねていくゲームです。

1. **スタート＞プログラム＞ゲーム＞ソリティア**をタップしてください。

2. 画面左下の**カードをめくる**をタップします。
3. 場札にカードの赤（ハート、ダイヤ）、黒（スペード、クラブ）を交互に数字が小さくなるよう重ねていきます。

- A は組み札に移動します。組み札には同じマークで数字の小さい順に並べます。
- 場札で数字のあるカードは可能であれば場札にある他のカードに重ねてください。
- 一枚あたり¥1の手数料が取られるので¥-52よりスタートします。
- 場札で開いていないカードはタップしてください。

メモ　メニュー＞オプションよりゲームルールおよびカードの模様を変更することができます。

付録

A.1 PC上でActiveSync 4.xを起動するための動作条件

本製品をPCに接続するためには、PCにMicrosoft® ActiveSync®プログラムがインストールされていなければなりません。ActiveSync 4.xは**お使いになる前にディスク**に格納されています。このプログラムは次のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています。

- Microsoft® Windows® 2000 Service Pack 4
- Microsoft® Windows® Server 2003 Service Pack 1
- Microsoft® Windows® Server 2003 IA64 Edition Service Pack 1
- Microsoft® Windows® Server 2003 x64 Edition Service Pack 1
- Microsoft® Windows® XP Professional Service Packs 1および2
- Microsoft® Windows® XP Home Service Packs 1および2
- Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005
- Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition
- Microsoft® Outlook® 98, Microsoft® Outlook® 2000, Microsoft® Outlook® XP, Microsoft® Outlook® 2003, Microsoft® Outlook® 2007 電子メールおよびコラボレーション クライアント
- Microsoft® Office 97 (Outlook以外)
- Microsoft® Office 2000
- Microsoft® Office XP
- Microsoft® Office 2003
- Microsoft® Internet Explorer 4.01以上 (必須)
- Microsoft® Systems Management Server 2.0

A.2 仕様

システム情報	
プロセッサ	400MHz SamsungスタックCPU
メモリ	- ROM : 128 MB - RAM : 64 MB SDRAM
オペレーティングシステム	Windows Mobile® Version 5.0

電源	
電池パック	Lithium-ion Polymer電池、1300 mAh
充電時間	約3時間
連続待受時間	GSMの場合 最長約200時間 UMTSの場合 最長約250時間
連続通話時間	GSMの場合 最長約5時間 UMTSの場合 最長約4時間
メディア再生	約8時間 (WMV)：約12時間 (WMA)
電源電圧	5 V

ディスプレイ	
LCD	2.8”カラー透反射形 (トランスフレクティブ) TFT-LCD（バックライトLED、タッチパネルスクリーン付き）
解像度	240 x 320 (65,536色)
表示方向	縦および横

WCDMA/GSM/EDGEモジュール	
機能性	UMTS (日本：HSDPA/UMTS (800/2100)、ヨーロッパ：2100、米国：850/1900) GSM/GPRS/EDGE (850, 900, 1800, 1900)
アンテナ	内蔵

外装	
寸法	112.5 mm (L) x 58 mm (W) x 21.95 mm (T) (キーボード収納時、突起部を含む)
質量	176g (電池パック、スタイラスを含む)

カメラ	
タイプ	メインカメラ：200万画素カラーCMOS カメラ (標準およびマクロ撮影切替えレンズ ライト付き) サブカメラ：10万画素カラーCMOSカメラ
解像度	画像：1600x1200, 1280x1024 (SXGA), 640x480 (VGA), 320x240 (QVGA), 160x120 (QQVGA) ビデオ：352x288 (CIF), 320x240 (QVGA), 176x144 (QCIF), 128x96
デジタルズーム	最高8倍

ボタンとLED	
ナビゲーション ボタン	• 5方向ナビゲーションコントロール • プログラムボタン x 5個：メール、Internet Explorer Mobile、カメラ、コミュニケーションマネージャ、メモ • 電話機能 x 2個：通話と終了 • スタートメニュー ボタン • OKボタン x 2個 • ソフトキー x 2個 • ジョグホイール • 電源ボタン • リセットボタン
ハードウェア キーボード	2つの追加ソフトキーを持つQWERTYキーボード：照明センサーが付いており、照明が暗い場合は自動的にキーボードの照明を起動します。

ボタンとLED	
LED	左のLEDの青い点滅は、Bluetooth® による通信が可能な状態であることを示します。また緑色の点滅は、ワイヤレスLANの状態を示します。Bluetooth® とワイヤレスLAN機能が両方とも有効になっている場合は、それぞれのライトが交互に点滅します。 右側は緑色とオレンジ色に点灯するLEDです。これはUMTS/GSMスタンバイ、UMTS/GSMメッセージ、UMTS/GSMネットワーク状態、通知、充電状態などを示します。

オーディオ	
オーディオコントローラ	AGC
コーデック	AMR/AAC/WAV/WMA/MP3

外部接続	
赤外線	IrDA SIR
miniUSB	USB、シリアル、オーディオ、電源接続用
カーアンテナ コネクタ	GSMおよびEDGE用外部コネクタ
Bluetooth®	Bluetooth® 標準規格Ver. 2.0準拠 Power Class 2 GAP (汎用アクセスプロファイル) SPP (シリアルポートプロファイル) HSP (ヘッドセットプロファイル) OPP (オブジェクトプッシュプロファイル) DUNP (ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) HFP (ハンズフリープロファイル) GOEP (汎用オブジェクト交換プロファイル)
ワイヤレスLAN	IEEE 802.11b/g

拡張スロット	
カードスロット	microSD™

A.3 お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

電話番号はお間違いのないようおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター

総合案内：ソフトバンク携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付：ソフトバンク携帯電話から113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
＋81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

地域	窓口	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

ア

イ

オ

カ

キ

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ニ

ネ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

ミ

メ

モ

ヨ

ラ

リ

ル

レ

ロ

ワ

A

B

C

E

G

I

O

P

S

T

U

W

Z

記号類

SoftBank X01HT　取扱説明書

2007年4月　第3版

ソフトバンクモバイル株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
ソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank X01HT
製造元：HTC Nippon 株式会社

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報 (連絡先・通信履歴・メール等) は事前に消去願います。

PRINTED WITH SOY INK™

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

マナーもいっしょに携帯しましょう。